



明治二十六年

山形縣勸業諮問會日誌

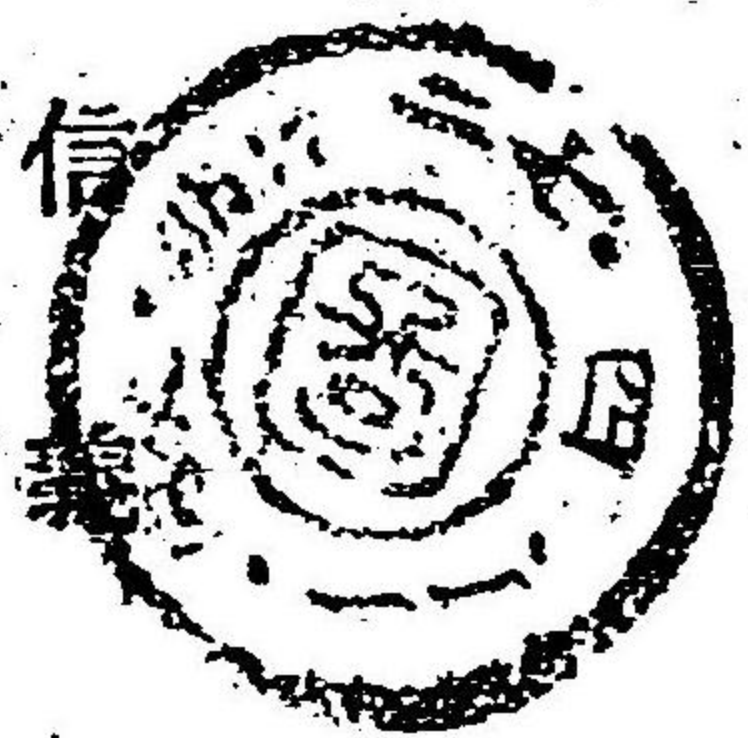
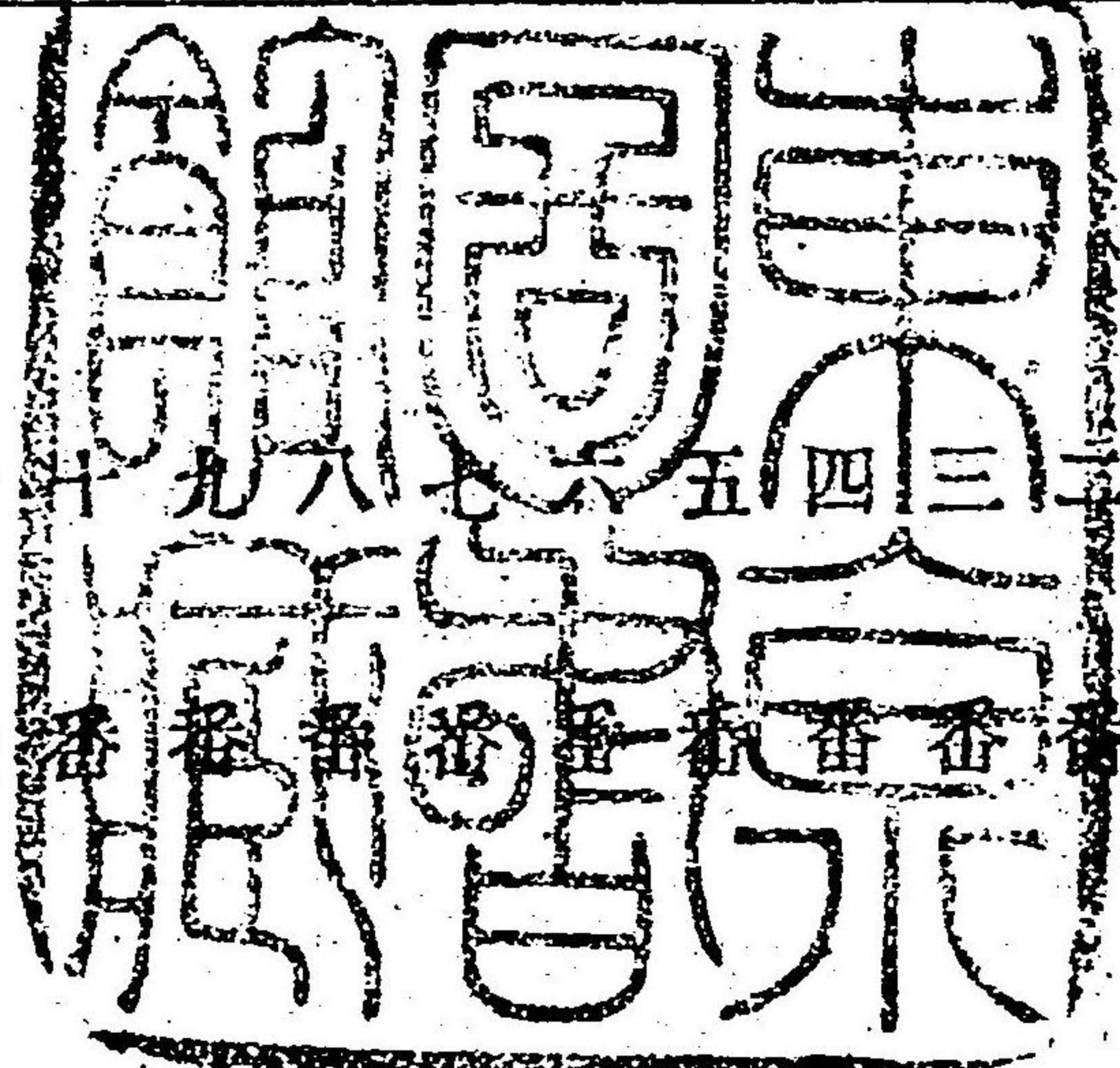
山形縣內務部

第三課

山形縣勸業諮問會日誌
 明治廿六年勸業諮問會ハ八月二十八日ヨリ米澤尋常中學校ニ於テ開會シ同月三十日ヨリ
 都合ニ依テ同市公園内松岬館ニ移轉シ九月五日閉會ス

勸業諮問會員

一 番	飽海郡松嶺町	林 信
二 番	南村山郡柏倉門傳村柏倉	齋藤 理右衛門
三 番	東置賜郡屋代村竹森	長谷川 平内
四 番	東村山郡出羽村漆山	那須 義八
五 番	米澤市山上通町	廣 居 忠 良
六 番	東田川郡横山村横山	本間 多右衛門
七 番	南置賜郡窪田村中田	加藤 元右衛門
八 番	東田川郡山漆村上山添	五十嵐 九兵衛
九 番	東置賜郡大川村小松	江 口 繁 藏
十 番	米澤市北谷地小路町	賣 間 信 任
十一 番	東置賜郡屋代村一本柳	金子 孫左衛門
十二 番	西置賜郡豊田村萩生	八 島 傳 内
十三 番	北村山郡長湍村	菊地 庄兵衛



頁	三三三三二二二二二	行數	一八七一一一一一	正	本縣ヘハ本縣ヨリ
頁	七三〇〇〇〇〇	行數	一〇二二二二二	正	一層ニノニハ街
誤	千種ハ十種	誤	出品セシハ出品セヌ		
誤	次郎右衛門ハ次郎右衛門		本年ハハ本會ヘ		
誤	細詳ハ細		面白カラヌノ下不テ脱ス		
誤	ニ尺五寸ハ五尺二寸		府縣稅ヨリノ府ハ街		
誤	數年ナラシメ下スチ脱ス		全クハ余リ		
誤	種數ハ種類		販賣店ノ下ヘチ脱ス		
誤	サルハ斧		一棟ハ一様		
誤	コトハスノスハ街		數口ヲ纏テハ數日ヲ經テ		
誤	本縣ヘハ本縣ヨリ		時マテハ時日ヲ		

十四番	東村山郡寺津村寺津	大木勘十郎
十五番	全・郡殿増村殿増	白田省吾
十六番	西置賜郡豊田村時庭	大場成章
十七番	最上郡新庄町	武石速水
十八番	東田川郡廣瀬村松尾	加藤正英
十九番	最上郡稻舟村松本	大泉理助
二十番	西置賜郡長井町小出	加藤治兵衛
廿一番	南村山郡東澤村小白川	佐藤勘次郎
廿二番	山形市上町	工藤吉太郎
廿三番	北村山郡戸澤村大楨	高橋勝兵衛
廿四番	飽海郡酒田町	白崎善吉
廿五番	山形市香澄町	林 兎喜太郎
廿六番	西村山郡谷地村谷地	柴田大三郎
廿七番	最上郡鮭川村中渡	荒木伊左衛門
廿八番	南置賜郡三澤村口田澤	伊藤新助
廿九番	西村山郡左澤村左澤	菊地倉吉
三十番	西田川郡大山町	加藤長三郎
卅一番	西村山郡東五百川村宮宿	柴田七郎兵衛

卅二番	西田川郡東郷村青山	小川又次郎
卅三番	飽海郡西荒瀬村酒井新田	本間光義
卅四番	北村山郡楢岡町	細梅寛六
卅五番	西田川郡鶴岡町	酒井調良
職員		
會 頭	山形縣參事官	山 田 幹
説明員	全 屬	竹尾忠男
全	全	赤谷元駝
全兼書記	全 備	塚田正一

三 勸業諮問會問題

第一 第四回内國勸業博覽會出品獎勵ノ件
 本年四月勅令第十六號ヲ以テ二十八年四月ヨリ七月三十一日マテ京都市ニ於テ第四回内國勸業博覽會開設ノコトヲ公布セラレタルニ依リ各地當業者ハ其出品ノ計畫ヲ爲シ居ルハ疑ハサル所ナリト雖トモ從來ノ經驗ニ徴スルトキハ重要物産ハ同種類ノ出品點數ヲ多クシ來觀者ヲレテ觸目レ易カラシムルニアラサレハ地方物産ノ光輝ヲ耀カシ一般當業者ノ注意ヲ惹クニ足ラス又各郡市當業者中ヨリ出品人總代ヲ選出レテ會場ニ派

遺之ヲシテ出品ニ關スル物産ノ説明ヲ爲サシメ併セテ他地方物産ノ狀況及彼我出品ノ批評ヲ觀察セシメハ將來地方ノ發達ヲ裨益スルコト尠少ナラサルヘキカ此他出品種類ニ屬スル物産販賣店ノ如キハ販賣ノ擴張ヲ謀リ需用者ノ嗜好ヲ確ムルニ欽クヘカラサル手段ナルヲ以テ販賣店設置ヲ獎勵セントス即チ左ノ各項ニ就キ各員ノ意見ヲ問フ

- 一 出品ヲ勸誘スヘキ物産ノ種類并ニ其勸誘ノ手續
- 二 各郡市ヨリ出品人物代ヲ選出セシムヘキ物産ノ種類及其選出手續
- 三 販賣店設置計畫

第二 田圃害虫豫防規則改正ノ件

田圃ノ害虫ハ其發生ノ初ニ於テ之ヲ驅除スルトキハ其害ヲ免ル、チ得レトモ之カ驅除豫防ヲ忽諸ニ付スルトキハ遂ニ蔓延猖獗ヲ來レ不測ノ災ヲ釀スモノ尠カラズ輒近米作改良教師ノ講話ニ基キ螟虫驅除豫防ヲ施行スルモノ追々増加スル景況ナルモ現行田圃害虫豫防規則ハ今日ニ適セサルノ點少カラサルモノ、如レ故、該則ヲ改正シ多數ノ耕作者ヲテ周ク驅除豫防ヲ實施セシメ災害ヲ未發ニ防カントス其適否ヲ問フ

田圃害虫豫防規則

- 第一條 田圃ノ害虫驅除區域ハ市町村若クハ市町村ノ部落又ハ農事改良組合ヲ以テ一區域トナシ大畧左ノ事項ニ基キ驅除豫防方法及施行手續ヲ規定シ本廳ノ認可ヲ受クヘシ
 - 一 驅除豫防スヘキ虫類
 - 二 驅除方法

三 經費支出方法

- 第二條 各自田圃ニ於テ害虫ヲ發見シタルトキハ其耕作者直ニ之カ驅除ニ着手シ尙ホ蔓延ノ徵候アルトキハ所轄市役所及町村役場ニ届出ツヘシ
- 第三條 市役所及町村役場ニ於テ害虫蔓延ノ徵候届出ヲ受ケタルトキハ直ニ其區域内ニ到達シ驅除豫防方法ヲ實施セシメ町村役場ハ郡役所ニ郡市役所ハ本廳ニ届出ツヘシ
- 第四條 市町村長ヘ害虫ノ蔓延猖獗ニシテ區域内ノ力ニ及ハスト認ムルトキハ隣區交互救援セシムルハ勿論若シ蔓延ニ區域以上ニ跨ルトキハ被害地郡市町村長協議ニ便宜方法ヲ設ケ驅除豫防ヲ施行スヘシ
- 但本條ノ場合ニ於テハ本廳ヨリ監督者ノ派遣ヲ請フコトヲ得
- 第五條 每區域驅除豫防方法實施ノ狀況及成績ヲ取調町村長ハ郡長ニ郡市長ハ知事ニ報告スヘシ
- 第六條 第一條ニ依リ認可シタル虫類ハ其區域内田圃害虫トシテ管内ニ告示スヘシ
- 第七條 第二條ノ届出ヲ怠ルモノハ五錢以上五拾錢以下ノ科料ニ處ス

第三 養蚕期中天氣豫報ノ件

養蚕期中降雨ノ爲メ執業ノ順序ヲ紊リ飼育上困難ヲ來スハ當業者ノ常ニ最モ憂慮スル所ナリ今ヤ氣象臺ノ天氣豫報ニ依リ其降雨ノ現象ヲ前知シ給桑其他ノ點ニ就キ不慮ニ備フルコトヲ得ルハ亦氣象觀測ノ効ト云フヘシ既ニ隣縣福嶋ニ於テハ測候所設置以來養蚕期中當業者ノ需メニ應シ十七ヶ所ニ轉報シ夫ヨリ各當業者ニ傳達スルノ方法ヲ施

行大ニ利益ヲ感セシト云フ本縣ニ於テモ全期中天氣豫報ヲ當業者ニ普及セシムルニ至ラハ其裨益尠少ナラサルヘシ依テ左ノ方法ニ依リ之ヲ實施セントス其可否如何ヲ問フ

方法

- 一 市町村ノ協議ヲ以テ養蚕期中天氣豫報ノ轉報ヲ請求セントスルトキハ(町村ハ郡役所ヲ經由シ)本廳ニ申出ルモノトス
- 一 前項申出アルトキハ山形測候所ヨリ日々豫報ヲ所轄郡役所(電信局所在地ハ役場)ニ轉報シ郡役所(又ハ役場)ニ於テハ直ニ豫報信號旗ヲ掲ケ尙ホ揭示場ニ揭示シ遠隔ノ町村ニハ急使ヲ以テ通報スルモノトス
- 一 豫報ニ關スル一切ノ費用ハ請求者ノ負擔トス

費用見積

金九圓

金四圓六拾錢

養蚕期六十日間山形測候所ヨリ郡役所又ハ電信局所在地役場マテ電信料一ヶ所分豫報信號旗一ヶ所分

別ニ急使ヲ要スルモノハ人足賃

第四 蚕絲業組合組織ノ件

蚕絲業組合設立以來茲ニ數年ヲ經過シ其間甲乙相是非シ往々圓滑ノ運動ヲ欠キレコトアリトイヘトモ當業者相互ノ檢束ニ依リ製造販賣ノ弊害ヲ矯正シ改良發達ヲ企圖スルニ於テ其效大ナリトス然レニ人事ノ變遷社界ノ進歩ニ從ヒ百般ノ施設昨ハ適シ今ハ適

セサルコトアルハ數ノ免レサル所ナリ今ヤ各地當業者中本組合組織ニ就キ種々ノ意見ヲ懷クモノアリトイヘトモ大要組合ハ養蚕製種及製絲ノ三種ニ分テ其地區ハ適宜狹少ナラシメ組合取締所ヲ廢シ各郡組合ノ自治トナスヘト云フニアリ此ノ如ク組織ヲ變更スルトセハ將來當業者ニ如何ナル關係ヲ及スヘキヤ現今ノ組織ヲ持續スルト比較シ其利害得失如何畢竟當業上ノ大勢ニ關スル事項ナルヲ以テ各員ノ所見ヲ問フ

第五 製絲共同場返場補助繼續ノ件

本事業ハ目下着手中ニシテ未タ成績ノ見ルヘキモノアラスト雖トモ當業者ノ意向ヲ察スルニ之カ増設ヲ望ムコト切ナルカ如シ故ニ來年度ニ於テモ本年ノ例ニ依リ新設場返所ヲ補助セントス其可否如何ヲ問フ

第六 農事試驗場設置ノ件

耕作及蚕業ハ縣下重要ノ事業ニシテ其進否盛衰ハ實ニ一縣ノ盛衰休戚ニ關スルト謂フ可シ近年官民之カ改良進歩ヲ圖リ其成果ノ觀ル可キモノナキニ非スト雖トモ未タ十分改良ノ緒ニ就クノ運ニ至ラサリキ意フニ農事ノ改良ハ其關係スル所廣大コレテ極メテ難事ニ屬スルヲ以テ精密ナル試驗ヲナシテ其成績ヲ明カニシ以テ其利害得失ヲ知ラシムルニ必要ナリトス今ヤ政府ハ農事試驗場ノ制ヲ設ケ本場ヲ東京ニ支場ヲ宮城石川大阪廣嶋德嶋熊本ノ六縣下ニ設置セラレタリ又農商務省ニ於テハ夙ヨ蚕事試驗場ヲ置キ蚕業ニ關スル諸般ノ試驗ヲナスモ蓋シ之カ爲メナリ然リ而シテ農業ノ事タル土地氣候等ニ因リ其方法ヲ異ニスルヲ以テ地方適當ノ事項ヲ研究シ且ツ地方當業者ヲシテ試驗

ノ成績ヲ普知セシメント欲セハ各地ニ試験場ヲ設置スルヲ緊要ナリトス因テ本縣ニ於テ該試驗場ヲ設置セシメ耕作蚕業ノ二部ニ分テ耕作蚕業ニ關スル諸般ノ試驗ヲ實施シ且ツ農學士ヲ招聘シテ之カ管理ヲナサシメントス但耕作部ハ山形市近傍鶴岡町近傍及米澤市近傍ニ設置スルノ見込ナルモ差向山形市近傍ニ設置セントス其設置方法ノ梗概ハ左ニ記スル所ノ如シ其可否如何

農事試驗場設置方法

- 一 農事試驗場ハ耕作部及蚕事部ニ分テ耕作部ハ山形市近傍ニ設置シ蚕事部ハ同市内ニ設置スルモノトス
- 一 農事試驗場ニ場長一名ヲ置キ場中全般ノ事務ヲ掌理セシム
- 一 耕作部試驗場ハ田畑合六反歩トシ借入地ヲ以テ之ニ充ツ
- 一 耕作部ニ關スル試驗ノ方法順序ハ場長ノ定ムル所ニ依ル
- 一 耕作部ニ試驗擔當人ヲ置キ試驗場所在地當業者ヨリ選任ス
- 一 耕作部試驗擔當人ハ場長ノ指揮ヲ受ケ試驗ノ業務ニ従事ス
- 一 左ニ掲クルモノハ耕作部試驗擔當人ニ於テ之ヲ準備ス
- 一 耕耘栽培及收穫等ニ要スル通常人夫農具
- 一 通常種子肥料
- 一 左ニ掲クルモノハ試驗費ヨリ支出ス
- 一 試驗ノ爲メニ要スル特別ノ人夫農具

特別ノ種子肥料

- 一 耕作部試驗收穫物ハ試驗ノ爲メ消費スルモノヲ除キ不用ノ分ハ試驗擔當人ノ所得トス
- 一 蚕事部試驗場ハ借入家屋ヲ以テ之ヲ借用ス
- 一 蚕事部ニ試驗主任ヲ置キ試驗ニ關スル事務ヲ擔任セシム
- 一 蚕事部ニ評議員ヲ置ク
- 一 蚕事部評議員ハ五名以内トシ管内養蚕者及製糸者中ヨリ撰任ス
- 一 蚕事部評議員ハ名譽職トシ知事ノ命ヲ受ケテ試驗ニ關スル事項ヲ評議ス
- 一 蚕事部評議員會ハ評議員及第二課主務員ヲ以テ之ヲ組織シ毎年一回之ヲ開キ會期ハ十日以内トス
- 一 蚕事部評議員會ノ會長ハ第三課長ヲ以テ之ヲ充ツ
- 一 蚕事部試驗場ニ於テハ人員ヲ限リ管内當業者ノ子弟ヲシテ蚕業ニ關スル事項ヲ講習セシムルコトアルヘシ

○八月二十八日午前九時四十分開會 出席員二十名

會員說明員書記一同着席ス山田參事官左ノ演說ヲナス

小官本會々頭ヲ命セラレ本日ヨリ爰ニ勸業諮問會ヲ開設ス依テ是ヨリ問題ヲ配布スヘシ諸君常ニ經驗シ居ラル、所ニ就キ熟考ノ上前途如何ナル方針ヲ以テ其完備ヲ圖ルヘキカ各員充分ノ意見ヲ吐露セラレシコトヲ希望ス

書記ノ問題ヲ配布ス

二番(齋藤) 縣廳ヨリ提出セラレ、問題ハ只今配付セラレシノミナルカ實ハ會員中ニハ重要ノ問題ヲ携ヘ本會ニ提出セントスル方モアルヘシト考フ是等ノ諸君、速ニ會長迄差出シ會長ヨリ印刷シテ配付シ會期ノ迫ラサル内充分熟考シ得ル時期ヲ與ヘラル、様豫メ注意アラシコトヲ希望ス

會頭(山田) 只今二番ノ注意ハ至極尤事ナリ各員申文題トシテ提出セントセラル、方一ハ口頭ニ書物ナリニテ會頭迄申出サルヘシ尙諸君一一言セシ農商務技手小野孫三郎一氏稻作改良ニ爲メ巡回中ノ處本日ハ當市ニ於テ講話スル日割ニ當リ折良ク諸君ノ集ラレシ事ナレハ本日ノ會ハ是ニ停メ稻作改良ニ關スル講話會ヲ傍聽スルコトニセン時ニ午前十時十五分停會

○八月二十九日午前十時十五分開會

出席員二十六名

會頭(山田) 是ヨリ第一問題ノ質問會ヲ開クヘシ

十九番(大泉) 第四回内國勸業博覽會ニ出品スル種類ハ大凡極リ居ルト聞キシカ本案ニ就テ考フレハ假令農業中米トカ豆トカ工業ニテハ製絲トカ織物トカ各部ヨリ出品スヘキ種別ノ見込ヲ答申セヨ云フ譯ナシヤ

說明員(赤谷) 第四回博覽會ハ地方重要ノ物産ヲ多額ニ出品シ專ラ需用者ニ目ヲ注カシメ前途大ニ其販路ヲ開カント欲スルニアリ故ニ大体ノ種別ニ付テ見込ヲ拜聽スヘシ廿七番(荒木) 第四回内國博覽會手續ハ矢張第三回ト同様ナルヤ又出品ニ關スル運送費及裝飾費等ノ如キモノハ出品者ノ自辨トスル見込ナリヤ

說明員(赤谷) 大体第三回ト大差ナカルヘシ而シテ經費自辨トスルカノ質問ナルカ今日ノ形勢トシテ多數出品セシメント欲スレハ是非是等ノ經費ヲ補助セサルヲ得ス本案ハ出品ニ關スル經費ハ縣稅ヲ以テ補助シ充分勸誘シテ出品セシメント欲スル考ナリ

廿一番(佐藤) 出品ハ矢張第三回ノ如ク種類ニ制限ヲ立テ積リナリヤ

說明員(赤谷) 問ノ通制限ヲ立ツル積ナレハ究屈ノ制限ハ立テサル見込ナリ十五番(白田) 本案ノ未項ニ販賣店設置計畫トアリ其趣向ハ如何セラル、積リナルヤ說明員(赤谷) 本縣ニ於テ内國博覽會ニ已ニ三回モ出品セシカ未ダ曾テ物産ヲ賣擴ムルノ計畫ヲナセシコトナシ各府縣ニテハ大抵會場前ニ販賣店ヲ設ケ出品同様ノ品ヲ陳列シテ汎ク之ヲ販賣セリ故ニ第四回博覽會ニハ本縣ニ於テモ販賣店ヲ設立シ重要物産ヲ陳列シテ汎ク之ヲ販賣シ前途大ニ販路ヲ開カント欲ス然レテ販賣店ハ會場ノ傍ニ適當

ノ地所ヲ借受ケ凡ソ三十坪ノ建家ヲ建設シ出品者ノ用ニ供セントスルナリ其建築豫算ハ大抵貳百圓位ナレハ出來得ヘク地所ハ官地ナレハ別ニ地代ヲ課セサルヘシ

卅五番(酒井) 重要物産トセラル、品名參考ノ爲メ承リ置キタル

説明員(赤谷) 先ツ博覽會出品ノ目的ヲ以テ重要物産トセラルヘキモノハ概シ左ノ如シ

米、麥、大豆、蕪、生絲、織物、薄荷、苧麻、煙草、藍葉、澱粉、菜種、紙、菓實、清酒、醬油、銅鐵器、陶器、干蕨、人參、真綿、草履、蔓細工、のし梅、鹽鮭、干鰯、鰯、石花菜、絹絲細工物類、漆器、筆、馬匹等ノ種類トス

二番(齋藤) 本員ハ先ツ第一問題ニ付爰ニ當局者ノ意見ヲ確メ置カントス本案末項ノ第一ヨリ第三マテ可否一々答申セヨト云フ譯ナレカ然レ是等ノ事ヲ主務課ニ於テ必要ト認メ是非實踐シ度ト云フ點ヨリレテ本會ニ提出セラレシモノカ若クハ單ニ參考ノ爲メ答陳セヨト云フニ止マルカ

説明員(竹尾) 只今二番ノ問ナレカ參考ノ爲メ一言セン抑モ博覽會ヲ開設スル所以ノモソ各地ノ物産ヲ一集ニ其精粗優劣ヲ判別シ營業者ヲ益々奮發セシメ專ラ改良増殖ヲ圖ルニ外ケラス一例ヲ舉クレハ第一回内國勸業博覽會時出品蕪ハ悉ク黃蕪則チ青白ノミニシテ會場ハ悉ク黃金色ノ實況ナリキ當時審査官ハ勿論營業者ノ意向ハ一般營業ノ改良ヲ計ラントスルニハ先此黃蕪ヲ白蕪ニ改ムルヨリ急務ナルハナレトシ大ニ必要ヲ感セシカ第三回博覽會ニハ黃白交リニシテ未ダ其目的ヲ達スル能ハス第三回即チ二十三年ノ會ニ至リ悉皆白蕪種ニシトナレリ是博覽會ニ於テ改良ノ必要ヲ感

シ其目的ヲ定メ勸誘獎勵シテ成績ヲ顯シタル事實ナリ然ラハ假令改良ヲ要スルモノ又ハ普及ヲ要スルモノアリトスルモ博覽會場ヲ多數ノ出品アリテ人ノ耳目ヲ惹クニアラサレハ其目的ヲ達シ難カルヘシ然ルニ第三回ニ於テ本縣ノ出品ハ如何ニテアリト云フニ他府縣ニ比シ進歩ヲ見ハスニ足ル程ノ出品ナク殊ニ重要物産タル生絲ハ稍可ナレハ蕪ニ至リテハ少數ニシテ且ツ品位惡シク實ニ遺憾ヲ免レサリト聞ク故ニ當局者ノ考ハ來リ明治廿八年第四回博覽會ニ於テ力ノ及ブ丈ク經濟ノ許ス限リ充分ナル方法ヲ立テ地方物産ノ光輝ヲ内外ニ見ハスノ方針ヲ採ラン、欲スルナリ故ニ其方法手段ニ於テハ各員ニモ夫々御見込アルヘケレハ之ヲ述ヘラレシコトヲ望ムナリ

一番(林) 出品ニ夫々制限ヲ付スル見込カ

説明員(竹尾) 凡ソ制限ヲ付クル考ナリ而シテ未ダ其規則ノ出來サル事ナレハ其種類等ヲ確定スルコト能ハス又假令必要ナラサル品ナリト認ムルモノコトモ其業務ニ熱心ニ強テ出品セント出願スル場合ニハ規則ニ禁セサル限リ出品ヲ許可スル積リナリ

十三番(金子) 第三回内國博覽會ニ本縣ヨリ出品セシ種類ヲ承リタシ

説明員(赤谷) 二十三年第三回内國博覽會ニ本縣ヨリ出品セシ種類ハ

薄荷、食鹽、花蠟燭、陶器、銅鐵器、蔓細工、彫刻、鏝、織物、紙、將棋駒、草履表、菅筴、竹杖、米、麥、大豆、小豆、菜種、蕪、生絲、干柿、菓實、澱粉、茶、苧麻、馬匹、醬油、酒糟、清酒、荒銅、煙草、刻煙草、卷煙草、紅花、干蕨、干柴蕨、石炭、石灰、鉛鐵、金鐵、アンチモニ鐵石、金鐵石、沙金、砥石、壁土、蠶種、登卵孵卵器、藍葉、荷籠詰、燒麩、酢、味噌、葡萄酒、ヘチマ、人

參、馬鈴薯、真綿、桑苗、アイコ糸、花胡桃、松茸罐詰、玉鱈全、クワリン全、熨斗梅、甘露梅、梅泉、葡萄シヤム、子籠鮭、鮎鹽漬、乾鯿、圓形錫、平錫、エゴ草、乾鱈、開キ鮭、乾鰯、乾鮫、櫻鱈、乾由蟹、石花菜、和布、漁業一覽并圖、鯉罐詰等ニシテ種類八十六種類出品數六百八十二點ナリ

三番(長谷川) 販賣店ノ事ハ當局者ニ於テモ充分練シサルカ如ク考フレハ後刻マテニ承ル事トセン然ルニ第三回内國博覽會ノ折ハ各縣ニテ随分遣リシト聞ケリ如何ナル手續ニテ設置セシモノナルヤ

説明員(竹尾) 石川縣ニテハ例ノ有名ノ陶器店ヲ出ダセシカ其他秋田ニテハ八丈又岐阜熊本等何レモ販賣店ヲ設ケシカ建物ハ皆其縣ニテ設置セシト聞ク然シ石川縣陶器店中重ナルモノハ組合ニテ設置セシ趣ナリ

卅四番(細梅) 第三回内國勸業博覽會ニ出品セシ生絲ハ何點ニシテ内賞與ヲ受ケレモノ何點アリヤ

説明員(赤谷) 三十五點ノ出品アリシガ内賞與ヲ受ケレモノハ二十九點ナリ十五番(白田) 明日モ本校ニ於テ開會セラル、ヤ

會頭(山田) 明日ヨリ公園内松岬館ニ移轉ス實ハ始メ會場ハ郡ノ議事堂ヲ借受タキ旨申込レモ差支ノ爲メ斷アレ松岬館ニ申込シレモ是又昨日ヨリ獸醫會アリ無止本校ニ開會スル事トナセリ然ルニ獸醫會モ幸本日子以テ閉會スルコトナレハ明日ヨリ同所ニ開會スルコトニ致シタレハ明日ハ直ニ松岬館ニ出頭セラレタシ

三番(長谷川) 本案第一項ノ末ニ勸誘ノ手續トアルカ此勸誘ニ保護ト云フ意モ含ミ居ルカ將ク只單ニ出品セシムルト云フニ止マルカ

説明員(竹尾) 出品ヲ勸誘スヘキ物産ノ種類トアルハ假令ハ是々ノモノハ重要物産ニ付勸誘シテモ出品セシムルト云フ意ニシテ又之ニ一層深ク立チ入り運賃マテモ補助スルト云フ積リナリ

九番(江口) 販賣店設置ハ至極結構ノ事ナリ然レ今日機屋ノ實況ヲ窺フニ只目前ノ利欲ニノミ汲々トシテ真正ノ物品ヲ販賣スルモノ實ニ少シ若シ販賣店ヲ設ケ染色等ノ不完全ヨリシテ却テ信用ヲ害シ販路ヲ開カントシテ閉塞スル様ナル事ナキコアラサルヘレ此邊ノ御見込ハ如何

説明員(竹尾) 御尤ナル質問ナリ然レ物ハ凡テ心配スレハ限リナシ當局者ノ考ニハ其販賣人トナルヘキモノニ充分注意ニ注意ヲ加ヘテ撰出セシメ許可スル際ニ確メル考ナリ會頭(山田) 質問モ畧ホ尽キタレハ第一問題ノ質問會ハ爰ニ止メントス昨日五番ヨリ提出セラレシ建議案ハ第四案ニ類似セシ問題ナレハ同案ニ取掛リシ場合ニ至リ本會ニ入ルヤ否ヤノ可否ヲ問ハント欲ス其他各員ニ於テ建議セントセラル、方ハ印刷ノ都合モアレハ速ニ提出セラレタシ本日ハ時刻モ移リタレハ是ニテ停會セン
于時 一時十五分停會

出席員二十七名

○八月三十日午前八時二十分開會
 卅五番(酒井) 今會ノ問題中尤モ肝要ナルハ第四トス然ルコ今回集ラレタル會員中ニハ
 正副組長若クハ取締役トカ本案則チ蚕絲業ニ從事シテ能ク其實況ヲ熟知セラル、方少
 ナカラス就テハ充分質問シテ練リオキタキ考ニ付本案ハ第一問題ノ次ニ質問會ヲ開カ
 レンコトヲ望ム

會頭(山田) 三十五番ノ建議モヤリ是ヨリ第四問題ノ質問會ヲ開ク

二番(齋藤) 本案ハ蚕業上將來ノ關係實ニ少ナカラサルヘント考フ就テハ本員ニ於テモ
 充分探究ノ上答申レタケ聞ク處ニ據レハ當業者ヨリ知事ニ向テ當春來蚕絲業組合廢止
 又ハ分業組合設立等夫々請願セシモノアリト若シ其書類ヲ持參セラレシナラハ此場合
 ニ一覽ニタシタシ

説明員(竹尾) 蚕絲業組合ヲ廢シ又ハ分業組合トナス等ノ請求願ハ東西置賜及西村山郡
 ヨリ出セシカ該書類ハ持參セシ諸ル處蚕絲業組合ハ當業者ノ結合ヨリ相互ニ協議シテ
 設置セシモノナリト雖トモ其實法令ノ下ニ成立シ製絲家モ養蚕家モ種屋モ絲商モ皆取
 交セシ組合ナルヲ以テ各業其趣ヲ異ニシ到底此儘ニテハ充分ナル結果ヲ見ル能ハス隨
 テ多額ノ費用ヲ掛ケ取締所ヲ置クハ實ニ不必要ナリト云フコアリ併シ本員ノ考ニハ今
 本會ニ於テ取締所ノ効アルヤ否ヤ等ニ就テ議スルノ必要ナカルヘシ只將來如何ニスレ
 ハ縣下ノ蚕業發達スヘキカ深ク其方法手段ヲ練リタキ考ナリ

十七番(武石) 説明員ノ説ヲ聞クニ要スル處縣下ノ蚕業發達ヲ企ツルニハ如何ナル方法

ヲ取ルカ充分其方針ヲ練リタシト云フニアリ本案説明書中ニ取締所ヲ廢シ各種分業ニ
 スルカ又ハ現今ノ組織ヲ持續シ云々トナレハ此二点ニ可否スル様見ユレトモ蓋シ蠶業
 ノ發達ヲ圖ラントスル場合ニハ矢張り組合組織全体ニ就テ申述サルヲ得ス何トモレハ
 蚕系業ノ發達ヲ圖ルニ現今ノ組合組織ヨリハ寧ロ分業ハ可ナリト云ハハ則チ組合組織
 ニ就テ討議セサルヲ得ス然レテ又分業トスレハ地方々々ノ適宜ニ組織セシムル見込ナ
 リヤ將タ準則等ヲ以テ夫々制裁ヲ付クルノ見込ナリヤ且又今日組合ニテ行フ處ノ蚕種
 検査ハ如何ニセラル、ヤ實ハ蚕種ノ検査ハ原種用モ製糸用モ一年々々検査ヲ行フ様イ
 タシタキ考ナリ

三番(本間) 今日ノ蚕系業組合ハ矢張り本省ノ準則ニ基キ成立シ居ルカ其實際ニ於テハ
 各種當業者ノ結合成立セシモノナルヲ以テ各種其利害ヲ異ニシ如何ニモ此儘ニテハ決
 レテ完全ナル働キヲナス能ハサルヘシ就テハ斯々ノスレハ宜シトカスレハ速道ト
 カ云フ場合ニ於レハ縣廳ニテハ其輿論ヲ取リ現行規則モ取替ルト云フ御決心アリヤ
 説明員(竹尾) 蚕系業組合ニ傳テハ將來此手段ハ宜敷ク是非此方法ニ因テ施行セサレハ
 ナラヌト云フ場合ニハ縣廳モ爲事得ラル、又其輿論ノ歸着スル所ノ方針ニ依テ進マ
 ントスル考ナリ

一番(林) 三番ノ質問ニ對シ只今説明員ヨリノ答辨ヲ聞クニ輿論ノ歸着スル方針ニ向ッ
 テ働クニ云フ説ナルカ現今左様ナル事ヲ得ラル、カ仮令ハ茲ニ蚕系業組合ハ分業
 組合ニスルハ宜シト云フ輿論トナル直ニ之ヲ分業セシムル事ハ出來得ルカ仮リニ縣廳

ハ可ナリトスルモ本省ニ於テ許可得ルヤ
 説明員(竹尾) 現行規則ヲ變更シ得ルヤ否ヤノ質問ナルカ之ハ當業者ノ輿論トシテ是非
 必要ナリト云フ場合ニハ上申シテ充分尽力スル積リナリ
 會頭(山田) 蚕糸業組合規則ヲ現行シツ、本問題ノ現ハレレニ就テハ如何ニモ一番ノ如
 キ質問ノ生スル譯ナラン抑モ本案ヲ提出セシ所以ハ蚕糸業組合ノ事ニ就テハ如何ナル
 方針ヲ採テヨキモ、カ之ヲ尋ラタク言ハ、縣廳ニテハ未ダ充分ノ方針立タヌト云フ譯
 ナリ然ルニ當春來當業者ヨリ種々ノ意見書ハ出來シカ爲ニ爰ニ本案ヲ提出シ各員意見
 ノアリ所ヲ聞ク之ヲ材料トナシ擴張スルヤ縮少スルヤハ知事ノ考ニアルコトナルハ
 又本省ニ上申シテ許可スルヤ否ヤモ計リ難シ併シ輿論トナレハ何處マテモ働キ得ル場
 合ナキニアラス畢竟スルニ本問題ハ知事ハ將來働ク所ノ材料ト考ヘラレタシ
 二番(齊藤) 西置賜及西村山等ヨリ出セル書面ニ就テ縣廳ハ如何ニ爲シ置カレシヤ只其
 儘ニ留置キシモノカ將タ却下セルモノカ能ク其實際ヲ承リタシ
 説明員(竹尾) 西置賜及西村山等ヨリ差出タセル書面ヲ如何ニ處分セシト云フ問ナルカ
 當業者ハ書記官ニ面シテ其實況ヲ陳述シタルコトモアリ情願ノ主意ハ組織ノ變更ニ關
 スルコトノミナリ而シテ請願書ハ知事ノ參考ノ爲メ留置キタリ
 十七番(武石) 本員ハ西村山郡ヨリ差出タセル書面ニ就テハ少シク心ヲ困レメ居リシカ
 此起リハ中々入り事ニシテ差出タセル書面ト實際トハ大ニ趣ヲ異ニセシモノナル
 ヘト思ハル、カ西村山ハ組合ニ廢シ西置賜ハ分業ト云フ主眼ナリヤ

説明員(竹尾) 西村山郡ヨリ差出タセルモノハ取締所ヲ廢スト云フニアリテ敢テ組合ヲ
 全廢スルト云フニアラス又西置賜郡ニテハ現在ノ組合ナルハ有害無益ナルヲ以テ全廢
 シタルト云フ意味コテ一步ヲ進ミ地區ヲ小ニセサレハ親シ薄ク總テ放任ニ傾キタル日
 分業組合ニシテ實ヒダシト云フニアリ
 卅番(加藤) 只今説明員ヨリ綴々書面上ニ就テ述ハラレシカ尙ホ此場合ニ當リ西村山及
 西置賜ヨリ出席セラル、會員諸氏ハ其實況ヨリ當業者ノ希望ヲ述ハラレシナラバ答申
 實際ニ大ナル參考ナルヘト考フ
 五番(廣居) 昨日閉會前會頭ノ御咄レコ因レハ本員ノ建議ハ第四案ニ類似ノモノトセウ
 レシカ決シテ類似ノモノニアラス組合ト是トハ大ニ趣ヲ異ニスルモノナリ抑モ本員ノ
 希望スル所ノモノハ現今蚕種ノ粗惡ニ流レ底止スル所ヲ知ラス今ニ於テ是カ改良ヲ企
 畫セズンハ蓋シ本縣ノ蚕業輾回スヘカラサレ慘狀ヲ呈スルニ至ルヘシ故ニ本員ハ爰ニ
 完全ナル蚕種製造組合ヲ設ケントスルニアリ爰ニ聯カ建議ノ大要ヲ述ヘオカシ
 會頭(山田) 然ラハ機會ヲ見計ヒ後廻シニスヘシ
 六番(本間) 本員ハ蚕糸業ノ事ハ極メテ不案内ナルカ本郡ノ組合ハ當時如何ナル有様ナ
 ンヤ
 説明員(塚田) 東田川郡蚕糸業組合ハ事務所ヲ藤島ニ設ケ出張所ヲ鶴岡五日町ニ置ク組
 長ハ阿部彦内氏ニシテ副組長兼検査役ハ長南助藏氏ナリ組合員ハ大凡九百五十人余ト
 ス然シテ該組合ハ他組合ニ比較スレハ諸事整理シ先ツ上位ノ方ナルヘシ

十七番(武石) 東田川郡蚕絲業組合實況ニ付事務所ヲ藤島ニ設ク云々只今説明員ヨリ述
ヘシガ藤嶋ニハ只事務所ヲ看板ヲ掲ゲオクニテ實際ハ總テノ事務藤嶋ニ於テ執行
セリ何トナレハ岡郡當業者ハ北部ニ少クシテ西南部ニ多ク爲メニ鶴岡ニ事務所ヲ設ク
置クハ非常ナル便益ナレハナリ

二十番(加藤) 本郡蚕絲業組合ハ當業者三千百九十八ナリ本組合ハ如キハ玆ニ數年間多
額ノ費用ヲ費シツル今日ニ及ヒシカ取テ著レキ功績ヲ見ス蓋シ効績舉ルヘカラサル組
織ト云フヘシ何トナレハ先々ヨリ請願セシ如ク只規則ノ範圍内ニテ各業者結合組合ヲ
爲シ居レハナリ假令議員ノ如クモ僅カニ家内ノ手慰ニシテナスカ如キ更ニ蚕絲業ノ何物
ナルヲ辨ハサル營業議員多ク當選シ又實業家ヨリテモ養蚕家ハ養蚕家製絲家製絲
家各其趣ヲ異ニシ利害ヲ異ニスレハ隨テ經費ノ點ニ至ツテモ製絲家ハ可成養蚕家ヨリ重
キヲ負ハレシメントシ養蚕家ハ又製絲家ニ重キヲ課セントスルカ如キ一方ハ改良説ヲ主
唱スレハ一方ハ之ヲ否ナリト云マカ如ク事々反對セリ故ニ本員ハ飽マテモ分業ヲ主唱
シテ止マヌ爰ニ養蚕家ハ養蚕家製絲家ハ製絲家種屋ノ種屋ト分業レテ組合ヲ設ク
曉メハ養蚕家ハ養蚕家ノ中間ニ金ヲ出ス又教師ヲ雇フニ直接ニ教授ヲ受クニ云フ
譯台ニナレハ經費ヲ徵集スルニモ實ニ容易ナルヘシ經費ノ纏リ宜シケレハ初メ計畫セ
ル事業ハ充分圓滑ニ爲シ得ナルヘク素ヨリ組合ハ當業者ノ約束上ヨリ成立所シモノ
ナレハ當業者ノ望ミニ依テ望ムト云フ方針ヲ取ラザルヘカラサル事ト考マ
三十五番(酒井) 二十番ニ質問セシ西置賜ハ二組合ニテ居ル由ナルカ其組合ニテ徵集

セラル、經費高及當業者ノ數詳細承リタレ
二十番(加藤治) 大畧ノ處ナレトモ本組合同業者ハ三千百余人ニシテ内養蚕家ハ二千五
百余人製種家ハ百五十余人他ハ製糸家仲買商ナリ
三十五番(酒井) 組合ニテ徵集セラル、金高モ承リタキ次第ナリ
二十番(加藤治) 本組合ニテ召集スル金高ハ近年非常ニ減額シ廿一二年頃ノ三分ノ一則
今日今ハ九百五六拾圓ナリ
十五番(白田) 問題ナニハ熟覽ヘルニ假令ハ第四問題ノ如キ當業者中ヨリ起リシ理由ヲ
掲ケテ所見ヲ聞クトアルカ如此事ハ當局者ニ於テ如何ニスル見込ナリヤ總テ當局者ニ
ハ一定ノ意見ナキ者ノ如シ
説明員(竹尾) 諮問會ノ問題ハ假令ハ此事ニ就テハ斯クスルカ或ハ此方法ニ依ルカト云
フカ如ク本會ノ意見ヲ聞テ遣ル場合アリ十五番ハ當局者ニテ何故ニ意見ヲ定メテ出サ
ヌト云フ考アルヘシ之ハ先ニ會頭ヨリ演述セラレタル通りナリ
十五番(白田) 本員ハ諮問會ノ性質ハ承知セリ只第四問題ニ就テ民間ヨリ提出セシ理由
等ヲ掲ケテ當局者ノ意見ヲ出ダサルハ如何ト云フニアリ
説明員(竹尾) 重大ノ事件ナルヲ以テ能ク本會ニ於テ練リニ練テ定ムル積リ平タク言ハ
未タ充分ノ意見立ダスト云フニアリ
三十五番(酒井) 二十番ハ西置賜郡組合ノ實況ヲ述ヘ是マテ多額ノ經費ヲ以テ今日マテ
遣リ來リシモ何ノ効ヲ奏セスト聞キシカ三十一番ハ現ニ西村山組合組長就職セラル、

カ如何ナル實況ナルヤ詳細承リタシ

三十一番(柴田) 本郡蠶糸業組合ハ明治二十三年以來休業セシ同然ナリ目下ノ處ニテハ全ク無効ノ廢物ナリ

三十五番(酒井) 沿革上ヨリ詳細今日ニ及ヒシ實況ヲ承リタシ

二十六番(柴山大) 三十五番ヨリ三十一番ヘノ質問ナルカ本員モ初メ同組長マリシ故其實況ヲ承知スレハ三十五番ニ對シ本員ヨリ答ヘントス沿革ト云フテモ別ニ之ト云フ著シキ事ナシ併シ該組合初メ創立ノ當時ハ製糸業ナリ又養蠶業ナリ經費ハ勿論適當ノ人物ヲ雇入レ揮テ獎勵セシカ故ニ追々多少ノ効著レ來リシカ同業者ノ度合進ミ來リテ事務所ノ世話ハ入ラスト云フ工台ニナリ事務所ハ下手ニ手ヲ出ス譯ニ至ラサル實況トハナレリ於是矢張組合會モ手ヲ出スニ及ハストシテ毎年々々費目ヲ縮メ來リテ何事モセズトモ事務所ヲ立置キサヘスレハ宜シト云フニ止マレリ故ニ取締所モ今日ノ處ニテハ不必要トハナリシ次第ニテ本郡ニテ無効ノ取締所ニ納ムル金ハ年々百四五拾圓ツ、負擔シ居ルカ實ニ無用ノ長物ナリ本員ノ考ニハ矢張西置郡ノ云フ如ク該組合ハ分業トシテ遣ルナラハ或ハ適當スルカト考フ先ツ何ニ致セ取締所ハ飽迄モ全廢シタキ考ナリ

三十五番(酒井) 三十一番ニ代リ續々述ヘラレシカ組合ヲ廢スル要旨ハ當業者一般進歩セシ故ナリト云フニ止マル様ナルカ西村山郡當業者ハ邊遇マテ進歩セシモノナルカ又組合ハ前途如何ナル方針ヲ採ルノ見込ナリヤ

二十六番(柴山大) 三十五番ヨリ邊隅マテ進ミシカト云フ質問ナルカ本郡當業者山間ノ

角々マテ進ミシト云フニアラサルカ概シテ進ミシト云フ譯ナルヘシ又前途ノ方針如何ト問ハシカ本員ハ別ニ確平タル充分ノ意見ナシト云フノ外ナシ

會頭(山田) 第四問題ノ質問會ヲ止メ是ヨリ第二問題田圃害虫豫防規則改正ノ件ニ付質問會ヲ閉ク

十五番(白田) 本案ノ改正ヲ要スル理由ヲ一應説明員ヨリ此場合ニ承リ置キタシ

説明員(赤谷) 本案ヲ提出セシ所以ノモノハ明治十九年甲第九號田圃害虫豫防規則ヲ改正セントスルニアリ該規則ハ第一ニ豫防スヘキ害虫ハ蝗虫、浮塵子、螟虫、苞虫、螟蛉、泥虫、椿象、蛸蠟、天牛、尺蠖、千種トナリ第三條、第四條、第五條ニ右害虫田圃ニ發生セシトキハ其作人ハ直ニ驅除シ若シ蔓延スルノ場合ニハ戸長コ届出ツトアリ又次ニ蔓延ノ場合ニハ戸長ノ指揮ヲ受ケ驅除ニ從事スヘシト若シ蔓延ノ勢熾コレテ區内ノ力ニ及ハザルトキハ互ニ救援スヘシト而シテ右三ヶ條ニ違背シタルモノハ違警罪コト處分セラル、事トナリ居ルカ仮令ハ桑樹ヘ毛虫カ段々蔓延スルニ至ルト雖トモ敢テ届出ルモノモナク之チ一々違警罪ニ處分シ得ルノ道アリトシテモ實際ニ到底處分シ能ハサルヘシ若シ處分スルトシテモ又届出ルモノナシ此等ノ如キハ宜シク地方ノ便宜ニ任セテ實行セシメタキ第一ノ目的ナリ且ツ斯ルコトハ彼ノ農事改良組合ニ於テ適宜ノ方法ヲ設ケレメ實行セシメタキ考ヘナリ

十五番(白田) 甲第九號ニ右ノ場合届出テサルモノヲ罰スルト云フ制裁アリヤ

説明員(赤谷) 該規則第十條ニ違警罪ヲ以テ處分スルノ制裁アリ

三十四番(細梅) 農事改良組合ハ一般ニ成立セシヤ
 説明員(赤谷) 未ダ一般ニ普及セサレトモ成立セシ郡多シ
 三十二番(小川) 本案第六條ニ第一條ニ依リ認可シタル虫類ハ云々トアルカ何虫ヲ指シ
 タル譯ナルヤ

説明員(赤谷) 驅除スヘキ虫類ナリ即チ地方地方ニ於テ害虫トスル所ノモノヲ指ス
 會頭(山田) 質問モ盡キダレバ第二問題ハ爰ニ止メ第三問題ノ質問會ヲ開ク

説明員(竹尾) 本案ヲ提出セシ理由ハ問題ニ大畧掲載セシテ以テ別ニ述ルノ必要ナキカ
 廣ク養蚕家ニ於テ適用スル障ハ非常ノ便益アルヘシト信ス隣縣福島縣ニ於テ實行セ
 シ昨年一年ニ各町村ヘ殖ル勢ナリ近ク本縣ニ於テモ之ヲ目當トシテ養蚕上莫大ノ便益
 ナ得レモノアリト蓋シ本案ノ如キ素ヨリ其當業者ノ望ミニ依テ設置スル譯ニテ縣稅ヲ
 要セス其部落々々コテ其費ヲ負擔セシムル譯ナリ併シ本會ノ意見ニヨリ何レトモ爲シ
 度考ナリ

三番(長谷川) 本案ノ如キハ恰モ小供等コ學文ヲ教テ如何ト云フ者ノ如シ誰有ツテ無用
 ノ事ト云フモノナカルヘシ然シテ該費用ヲ當業者名々ヨリ出ストスレハ本會ニ向テ諮
 問セラルハノ必要ナカルヘシト考フ隣縣福嶋ニテ實施シ一年ニ各町村ニ殖ユルト云
 フ御話シナレハ養蚕家コ必ス良キ事ナルヘシ果シテ長シトスレハ縣稅ヲ以テ實行ス
 ルカ如キハ如何併シ本員ハ飽迄モ實施シ度ト云フ考チ有セス

二番(齋藤) 本員ハ斯様ナ事ハツンツン遣ラレタレ或ハ該費用縣稅ヲ要スルコアラサレ

ハ本會ニ諮問スルノ必要ナレト云ハルモノアルガ本會ハ決シテ斯ル區域ノ狹隘ナルモ
 ノニハアラサルヘシト考フ

三十二番(小川) 本員ハ必ス此事ハ宜シキ事ト思フカ假令ハ山形ト莊内ノ氣候トハ何時
 モ非常ニ相違セリ現ニ昨年ノ養蚕期ニ於ケル山形地方ハ毎日ノ雨天ナルニ庄内地方ハ
 全ク之ト反對シテ毎日晴天ナリト云フカ如シ其邊ハ如何米澤方面モ庄内方面モ同シク
 何日ヨリ降雨又ハ暴風等ト知り得ラルハヤ

十五番(白田) 本員モ三番ト同感ナリ一般ニ宜シキ事ナレハ地方稅ニテ實行スヘシ

説明員(竹尾) 本案ハ諮問ノ問題ニ不適當ト云フ事ナレハ格別ナルカ該費用ハ之ヲ入用
 者ニ負擔セシムル方穩カナラント考フ次ニ三十二番ノ問ニ答ヘン測候所ハ今日ノ處ニ
 テハ本縣ニ山形一ヶ所ナルカ中央氣象臺ニテハ各地方測候所ノ氣象觀測ヲ基礎トシ全
 國ニ七區ニ割リテ豫報ヲ調製シ居ルナリ本案ハ即チ此中央氣象臺ノ豫報ニテ本縣ノ
 郡ニ當ルモノヲ轉報スルナリ然シテ豫報ノ當否ニ就テハ養蚕期六十日間福嶋縣ノ調査
 ニ依レハ豫報ノ適中セサリシモノ一割五分以上二割以内ナリキト又全國各區一ヶ年ノ
 平均ハ豫報不中大抵二割以内ニ居レリ

十六番(大場) 三十二番ノ陳ル如ク豫報ニハ往々相違アリ併シ少シク考フル次第モナキ

ニアラス全國ノ區別中本縣ハ何區ニ居ルヤ

説明員(竹尾) 本縣ハ第五區ナリ

三十五番(酒井) 明日ノ天氣豫報ハ今日 四時頃迄ニ達スルト 話ナルカ本案ヲ實行ス

ルニハ夜令ハ測候所ニ四時ニ報知アルモノトシ夫ヨリ又各郡ニ通知シテ豫報ヲ示スト
ナレハ何時頃マテニ營業者ニ示シ得ルヤ又本案ハ一町村ニ設ケラル、見込ナルカ鶴岡
ノ如キハ随分區域モ廣クシテ豫報ノ一般ニ知リ得ルマテハ頗ル時間ヲ費スコトト考
フ

説明員(竹尾) 大抵四時ニ達シ夫ヨリ郡ニ通スル少々時間ヲ費スト雖トモ六時七時頃ニ
ハ充分一般ニ示スコトヲ得ヘシ

説明員(赤谷) 参考ノ爲メ一言セン本年養蚕期中本員ハ山形市内コテ豫報ニヨリ執業セ
レカ全ク有益ナルコトヲ感覺セリ或日稀ナル晴天ナルコモ拘ハラズ豫報ハ雨トアリ誰
モ雨天トハ思ハレサレトモ豫報ナレハトテ桑葉ノ手配ヲ爲セシニ果セルカナ俄然十一
時頃ヨリ雲起リ降雨シ近隣ノ養蚕家ハ一方ナラス困難セリ依テ近隣養蚕家モ本員ノ該
豫報ニ依リ採桑常ニ其材料アルコトヲ目撃シ非常ニ感テ起シ天氣豫報ヲ營業者一般ニ
見安キ様ニタシト工風シ居レリ

三十四番(細梅) 豫報ハ山形ト北村山郡ト異ナラサルヤ

説明員(赤谷) 同一ナリ

會頭(山田) 第三問題ノ質問會ハ爰ニ止メ明日ハ第五問題ニ移ラン本日ハ是ニテ停會ス
于時午後一時十五分散會

○八月三十一日午前九時開會

出席員二十七名

會頭(山田) 是ヨリ第五問題ノ質問會ヲ開カン

三十二番(小川) 本案ハ製絲揚返所補助金ノコトナルカ二十六年度ニ於テ補助ヲ受ケ設
置セシ揚返所ノ郡村民名ヲ承リタシ

説明員(塚田) 二十六年年度ニ設置セシ揚返所ハ總計十五ヶ所トス米澤市ニテハ福田町加
藤卯兵衛外五名東置賜郡ニテハ和田村大字上和田鏡次郎右工衛外八名中川村大字中山
齋藤小三郎外十八名吉野村大字荻佐藤平左工衛門外四名次ニ西置賜郡ハ西根村大字川
原澤蒲生峰次外二十二各次ニ南村山郡ハ本庄村大字檜下齋藤利兵衛外八名山形市ハ香
澄町坂部藤太郎外廿名東村山郡ハ明治村大字灰塚富田源吉外廿名鶴山村大字風間佐藤
退助外四名北村山郡ハ橋岡町高梨仲次外廿四名最上郡ハ新庄町大場伴造外四名東田川
郡ハ東村大字大網清野彦三郎外四十六名飽海郡ハ北俣村大字上下北俣前田仲次外五十
名西田川郡ハ福榮村大字小國佐藤繁美外十四名以上ハ則チ本年告示第十八號製糸共同
揚返所補助規程ニ基キ設置セシモノナリ

三十二番(小川) 道路風説ニ由レハ一個人ニ補助セシモノアリト其邊ハ如何

説明員(塚田) 一個人ニ補助セシコトナキカト云フ問ナルカ是レハ其人名等細詳述シ通
リニテ決シテ一個人ニ向テ補助セシ等ノコトハアラサルナリ

二番(齋藤) 本案ハ昨年諮問會ニ於テモ頗ル議論ノ上成立セシ問題ナルカ該案ニ就テハ
本員モ大ニ意見アリ本年各郡ニ設立セシ所ノ揚返所ハ如何ナル成績ヲ呈セシヤ理由書

ニハ未ダ成績ノ視ルヘキモノナレトアレトモ更ニ其成績ヲモ知ラサレハ本案可否スニ
ル困難ナリ故ニ其實況詳細ナル説明アラシキコトヲ望ム

説明員(塚田) 二番ヨリ揚返所成績ヲ詳細述ヘヨト云フ望ミナルカ理由書ニ成績ノ視ル
ヘキモノナレト掲ケレハ本年ハ各揚返所共稍ク着手セシメテ未ダ日尙淺ク概シ
テ就業中ノモノ多ク爲ニ未ダ其成績等ヲモ調査シ能ハサル所以ナリ然レテ本年ハ各員
モ御承知ノ如ク銀貨問題 影響ヨリ輸出生絲ニ一般澁滞ヲ來シ各揚返所ニ賣却ヲ見合
セ居ル實況ナリ併ニ營業者ノ傾向ハ生絲改良ノ必要ヲ感セシモ其方法 困ミルカ揚返
所設置ニ依リ其方針ヲ定メ今ヨリシテ明年揚返所ノ設計ヲ企ツルモノモ少ナカラサル
由ナリ

二番(齋藤) 然ラハ補助成績ハ惡クナキ方ナルヘレ併シ多數ノ營業者中揚返所ニ對ス
ル別段ノ意見ヲ述ジモノナキヤ

説明員(竹尾) 揚返所ノ方法ニ就テハ少シク述ビモノアリト雖トモ不必要ト云フ論ハ今
日マテ更ニ聞及ハス唯粹尺チ二尺五寸ニ福嶋向キヨスルハ利益ナルヘト云フモノア
リシモ是レ則チ縣下ノ利益ニ反スル事ナルヲ以テ各揚返所ハ一般粹尺四尺九寸五分
方針ヲ採レリ

二番(齋藤) 説明書ヲ閱スルニ來年度ニモ云々トアリ然ラハ來年一年ヲ補助シテ充分ナ
リトノ見込ナルカ或ハ二三年ヲ繼續スル見込ナルヤ
説明員(竹尾) 尙ホ來年度ノ模様ニ據リ定メントスル考ナリ

會頭(山田) 第五問題ノ質問ハ爰ニ止メ續テ五番ヨリ蚕種製造組合ノ件廿番ヨリ蚕種製
造所設置ノ件建議ナリ居リレテ以テ是ヨリ審議スルコト、セン

蚕種製造組合設置ノ件

蚕糸ハ日本重要物産ノ第一位ヲ占メ就中本縣ノ如キ因テ以テ地方經濟ヲ維持スルニ已
ニ久シ夫レ然リ故ニ其發達進歩ヲ企圖スルニシテ足ラズ然レトモ熟々養蚕家ノ實際
ヲ觀察スルニ未ダ進歩ノ著シキモノナク上州信州ニ數歩ヲ讓ルノ實アルハ志アルモノ
、慨歎スル所ナリ且ツ年々歲々違違多ク甚シキニ至リテハ違違ノ原因ヲ盡ク蚕種ニ歸
スル者比々皆然リ此ニ於テ兼テ蚕種賣却ニ銳意ナル所ノ伊達地方ノ製造人ハ此機ニ乘
シ苟モ壯健ニシテ繭ノ形ヲ成スモノハ絲質ノ粗惡ナルヲ問ハス繭粒ノ不揃ナルヲ論セ
ス或ハ泥蚕ト云ヒ或ハ金化蚕ト云ヒ又荒馬トカノ名稱ヲ有スルモノヲ本縣内ニ賣リ弘
ムルニ至ル若シ此有様ヲシテ數年ニ亘ラシメハ本縣下ノ蚕業上ニ及ス弊害實ニ長大息
ヲ發セサルヲ得サルニ至ルヤ必然ナリ故ニ自今ノ急務ハ一利ヲ興スヨリモ一害ヲ除ク
ニ着目スルニアリトス其害ヲ去レハ其利ヲ蒙ルコトハ當然ノ理ナリ且ツ年々歲々蚕種
買入費ノ本縣ヲ出ルモノ幾萬フルヤチ知ラス此レ地方經濟上默過スルニ忍ヒサルヲ
リトス故ニ當今此等ノ弊害ヲ防クニハ自ラ製シ自ラ育ツルニアリトス然ルニ本縣内ノ
蚕種製造人ノ有様タルヤ甚ダ微弱ニシテ且ツ甚ダ少數ナリ加之個々單獨ニ從事シテ相
交渉スル事ナク蚕種ノ一定ハ望ムモ得ス甚シキニ至リテハ相敵視シテ奴犬ノ乘スル所

トナリ漁夫チシテ獨リ其利ヲ得セシムルハ現時ノ状態ナリトス故ニ本縣内ニ蚕種製造組合ヲ設ケ氣脈ヲ相通シ有無相交換シ且其筋ノ保護獎勵ヲ仰キ以テ粗惡ノ蚕種ヲ防キ自製ノ蚕種ヲ以テ益々蚕業ノ進歩ヲ企圖セントス

右蚕種製造組合設置ノ件ハ自今急務ト存候ニ付今回ノ勸業諮問會ニ提出致度候間採可被成下度概略ノ方法書相添ヘ此段及上申候也

明治二十六年八月三十一日
勸業諮問會員 廣 居 忠 良
山形縣勸業諮問會頭 山 田 幹 殿

蚕種製造組合規則

- 第一 組合事務所ハ各郡蚕業組合事務所内ニ設ケ十一ヶ所ト定ム
- 村山四郡 但山形市チ南村山郡ニ入ル 各郡一ヶ所ツ、
- 最上郡 一ヶ所
- 東西田川郡 一ヶ所ツ、
- 飽海郡 一ヶ所
- 置賜三郡 但米澤市チ南置賜郡ニ入ル 一ヶ所ツ、
- 第二 年限ハ明治二十七年度ヨリ三ヶ年トス
- 是ハ三ヶ年獎勵セハ製造人自ラ進歩ニ至ル見込
- 第三 職員

組 長 蚕業組合
組長ニ托ス

幹 事 蚕業組合
書記ニ托ス

檢査員

第四 經費

金壹千九百拾四圓

內譯

- 金貳百貳拾圓
- 金百六拾五圓
- 金九百九拾圓
- 金百三拾貳圓
- 金百三拾貳圓
- 金百拾圓
- 金百六拾五圓

第五 蚕種檢査法ハ本檢査ノ手續ヲ爲スモノトス

第六 徵收方

一名 一名ヨリ蚕種ノ枚數
ニヨリ三名ヲ置ク

總 額

組長十一名年酬勞金一名ニ付
金貳拾圓ツ、

幹事十一名年酬勞金一名ニ付
金拾五圓ツ、

檢査員十一名三ヶ月ノ見込
一ヶ月一名三拾圓ツ、

小使十一名四ヶ月ノ見込
一ヶ月一名三圓ツ、

借家科十一ヶ事務所
一ヶ所ニ付十二圓ツ、

筆墨紙十一ヶ所分一ヶ所ニ付
金拾圓ツ、

豫備費十一ヶ所分

金八百八拾圓

地方稅ヲ仰ク

金壹千〇三拾四圓

蚕種枚數ニ附課ス

第七 組合ノ細則等ハ其組合ノ適宜ニ任ス

吾國輸出品ノ主位ヲ占メ吾國ノ命脈ヲ繫クモノハ蚕糸ナリトハ萬口同音常ニ唱道スル處ニシテ實ニ我國ノ消長ニ關シ至大至重ノ物産ナリ然ルニ之カ根元タル蚕種ノ如何ヲ通覽スルニ全國中無毒ノ者甚タ稀ナリ偶々善長ナルモノアルモ實ニ曉天星辰ヲ見ルノ感アリ豈嘆甚ノ至リナラスヤ回顧スレハ安政六年貿易ノ事起リ佛國人初メテ我蚕卵紙ヲ幕府ニ乞フテ本國ニ歸リ試育セシニ頗ル好結果ヲ得テヨリ盛ニ蚕卵紙ヲ我國ニ賣リ其額一ヶ年殆ント百余萬枚ニ達セシ事アリ爾來我國人盛ニ蚕室ヲ構造シ桑園ヲ拓キ蚕業ノ進歩余輩ヲシテ那ノ點ニ迄達スルヤ量リ難カラシメタルハ即チ伊佛ニ微粒子毒蔓延シ頗ル慘狀ヲ極メ而シテ當時我國ニハ該毒ノ痕迹タモ認メサリキ然ルニ數年ナラシテ彼我頗ニ位置ヲ轉倒シ我國ノ蚕種微粒子毒ノ害ヲ受ル甚タ多ク爲メニ明治初年ニ比シ養蚕家ノ數増加シ桑園ノ反別數倍シ飼育法モ亦漸々進歩セシニモ抱ハラス蚕糸ノ產額比較的ニ増加セザルハ實ニ慨嘆ニ堪ヘサルナリ而シテ蚕糸業組合事務所アリテ之レカ改良ヲ圖ルモ只同業者ノ網羅ニ儀式的ノ規約ヲ設ケシカ如キ觀アリテ未タ其効ヲ見ス此ニ於テ余輩更ニ改良ノ道ヲ講シ該病毒ヲ撲滅セスンハアルヘカラス直ニ蚕種ヲシテテ尽ク無毒ナラシメ種數ヲ定メ益々善長ナル蚕糸ノ產出チ巨額ナラシメント欲セハ先

ツ以テ原種ヲ改良スルニアリ改良ノ道ハ他ナシ蚕種原種製造所ヲ本縣下各蚕糸業組合事務所毎ニ一ヶ所宛チ設立シ而シテ善長ナル原種ヲ製造シ傍ラ希望者ニ飼育法ヲ傳習セシメ各蠶種製造家ニ全所製造ノ原種ヲ低下ニ賣下ケ併セテ懇篤ニ誘導セハ改良何ソ其効ナキヲ憂エンヤ病毒何ヲ撲滅セサルヲ恐レンヤ果シテ此ニ至ラハ嚮キニ儀式的ノ觀アリトセシ蚕糸業組合規約モ亦一段ノ光彩ヲ放チ成功立チ所ニ著レ興産富國ノ四大文字ヲシテ空シカラザラニメン故ニ蚕種原種製造所ノ設立及蚕種原種ノ低價拂ノ補助金ヲ下付セラレン事ヲ別紙調書ヲ添ヘ此段及建議候也

明治二十六年八月三十一日

建議者 加藤 治 兵 衛

山形縣勸業諮問會頭 山 田 幹 殿

調 書

一金壹千九百五拾圓

蚕種原種製造所創立補助金

一金七拾圓

但一ヶ所金百五拾圓ツ、

一金八圓

蠶坐壹千枚代

一金三圓

竹貳百五拾本代

一金貳拾壹圓

柵木代

一金三拾八圓

簇七百五拾枚代
庖丁籠サル組及框製用諸器具代

一金拾圓

借家料

計金百五拾圓

一金壹千貳百圓

蚕種製造用ノ原種低價拂ノ補助金但框製六千枚分
廿五蛾一枚ニ付補助金貳拾錢ツ、

全縣下蚕種産額凡五萬枚ト見積リ則普通製々絲用百枚製造ニ供スル原種用框製三百
蛾ノ割合ニシテ如右

明治二十七年ヨリ二十九年マテ三ヶ年闌年々補助金下付ソ見込

右之通

會頭(山田) 五番ハ此場合ニ其旨趣ヲ述ヘラレタシ

五番(廣居) 本員ハ素ヨリ蚕業ニ從事スルモノナリ蚕種ノ養蚕ニ大切ナル事ハ今更喋々
セシテ己ニ各員ノ熟知セラル、所ナリ然ルニ現時蚕種製造人等ノ實況ヲ窺フニ毫モ
得意先ノ損害等ヲ顧ミルト云フ事ナク只口先ニノミ任カレテ賣付サヘスレハ宜レト云
フ有様ナリ甚タレキニ至ツテハ泥登ヲ以テ小石丸トカ赤熟ヲ青熟トカ唱ヘテ賣付々實
ニ善良ナル養蚕家ノ損害トナルコト少ナカラス故ニ本員ハ蚕絲業組合中ニ製種家組合
ヲ設ケ互ニ改良ニ改良ヲ加ヘ組製濫造ノ道ヲ絶チ以テ養蚕家全般ノ利益ヲ企テントス
是レ即チ爰ニ本案ヲ建議セシ要旨ナリ尙其他方法等ノ點ニ於テハ質問ニ依テ夫々答フ
ルコトニセン

會頭(山田) 然ラハ五番ノ建議ハ現今ノ組合ヲ其儘トシテ其内ニ又蚕種家ノ組合ヲ組織
スルト云フ意見ナリヤ

五番(廣居) 御見解ノ通

會頭(山田) 西置賜郡等ヨリ現ニ出シ説ト均シク分業ハ大体ノ旨趣ナルカ

五番(廣居) 本員ニハ決レテ分業ノ考ナレ飽迄モ蚕業ノ盛大ヲ企圖センカ爲メ組合ハ勿
論取締所ヲモ中止セサル考ナリ

一番(林) 五番ニ質問セン建議ノ旨趣ハ至極尤ナリ然ルニ其方法ハ縣稅ヲ仰キテ獎勵ス
ルカ其組ノミニテ教師デモ備ヒ遣ル積リカ將々蚕種検査等ヲ嚴重ニ行フ譯ナルヤ

五番(廣居) 今日ノ處ニテハ第一官ノ保護ヲ仰カサルヲ得ス則チ縣稅ノ補助ヲ乞フ考ナ
リ然シテ其方法ハ蚕種家結合ノ上完全ナル規則ヲ設ケ改良方法ヲ實行シテ眞ニ善良ノ

蚕種ヲ養蚕家ニ配付セントスルニアリ就テハ勿論蚕種ノ検査ハ嚴重ニ爲スヘク又場合
ニヨリ養蚕教師ヲ雇入ル、事モアルヘシ

二番(齋藤) 會頭ニ問フ五番ノ建議ハ詰ル處蚕絲業ノ一部ニシテ即チ蚕種ノ改良ヲ計ル
ト云フニ過キス此場合ニ審議センカ諮問會規則第二條ニ據リ建議セラレタルモノナレ
ハ可トスル以上ハ會員一致ノ意見ヲ以テ知事ニ具申スルモノナルヘシ然ラハ知事ヨリ
出サレタル問題結了ノ上ニテ如何

會頭(山田) 會頭ハ五番ノ建議ヲ採用スルカ或ハ採用スルノ價值ナレトカ満場ノ意見ヲ
問ハントスルニアリ

二番(齋藤) 本案ハ未ダ半信半疑ナリ併シ折角ノ調査ナレハ五名若クハ三名ノ委員ヲ設
ケ一應調査セシメダキ考ナリ

卅五番(酒井) 五番ノ説ハ本員モ稍々同感ナリ一体是等ノ事業ハ専ラ蚕絲業組合ニテ實
行スヘキ事ナレト如何セン今日ノ蚕絲業組合ニテハ到底斯業ニマテ立入ルコト能ハサ
ルヘシ爲メニ本建議等ノ現ハル、所以ナルヘシ然ルニ本建議モ第一ニ縣稅ヲ仰キ實施
セントスルモノナリ本員ハ素ヨリ是等ノ事ハ常ニ必要ト考フルハ第四問題ト共ニ遣ラ
レテハ如何何トナレハ本會ニテ何モ宜シ彼セ宜シト緩急ヲ見計ラハズ取極メシトテ縣
會ニテ只ダ一ト握リニセラル、チ如何セン故ニ第四問題討議ノ場合ニ當リ充分本建議
ノ旨意ヲ含シテ審議セント欲スル所以ナリ

六番(本間) 五番ノ建議ハ矢張り第四案ト連絡スルモノナレハ若シ本案ヲ容ル、トスレ
ハ第四案結了後ニスルカ又ハ前ニスルカモ確カムル事トイダシダキ考ナリ

十六番(大場) 二十番ハ不參ナルカ二十番ノ建議モ五番ノ建議ニ稍々齊シキモノナルチ
以テ矢張り同一ニ委員ニ附托セラレタシ

十六番(大場) 本建議ハ全ク第四問題ニ連絡ノ問題ニテ後來大關係ヲ有スルモノナレハ
會員中各郡ヨリ一名ツ、ノ委員ヲ撰定シ會頭ニ申告スル事トセン

卅五番(酒井) 委員撰定ノ事ニ就テ十六番ト同感ナリ何トナレハ只其方法ノミ宜シトナ
スモ實際ニ行ハレサルチ如何セン殊ニ十六番ノ述ル如ク第四案ニ關係アル問題ニシテ
輕々シク左右セラレテハ甚タ不都合ノ次第ナリ故ニ各郡ノ事情モアリ各郡ヨリ委員一

名ツ、撰出スルト云フ十六番ノ説ニ同意ス

廿六番(柴田) 本員モ十六番ノ説ニ同意ス

十八番(加藤) 建議者ヲ委員中ニ入ル、ハ感服セス建議者ハ委員外シテ旨趣ハ委員ヨリ
質問スル事トスレハ差支ナカラシ

十五番(白田) 委員ハ置賜及米澤市ヨリ三名村山及山形市ヨリ三名庄内ヨリ二名都合七
名ニテハ如何

一番(林) 本員ハ十六番ト同感ナリ各郡組合ノ事情ニ大關係アルチ以テ十一郡ヨリ選ヒ
タシ

十三番(菊池) 十五番ト同感ナリ

六番(本間) 委員ハ五名トスル説ヲ可トス

三番(長谷川) 十五番ヲ賛成ス各郡ヨリトスレハ委員會ニテ極マルノ恐レアリ又建議者
ハ委員ニ加ヘサル方宜シカラント考フ

會頭(山田) 委員撰定ニ就テハ各員ノ御意見ヲ承リレカ別ニ委員ヲ設ケヌト云フ説ナレ
只人數ヲ多クスルカ寡クスルカノ二ツナリ諸ル處委員ヲ置クト云フ各員ノ意見ナレハ
委員ノ設ケ方ハ會頭ニ任セラレタシ

三番(長谷川) 異議ナシ各員モ別段ノ事ニアラサレハ會頭ニ一任セラレタシ
會頭(山田) 然ラハ各員ノ任ニ據リ委員ヲ指名セン委員ハ五名トシ一番三番十六番廿一
番廿六番トス

三番(長谷川) 本員ハ事故モアリ且ツ蚕種ニ關スル事ナレハ十一番ニ取替ラレンコトヲ望ム

會頭(山田) 指名セシ委員ハ辭セラレサル様イダシ第四案ニ取掛ル前ニ報告スル様イダサレタシ

十八番(加藤) 昨年諮問會ニ於テ大体本縣勸業ノ方針トスヘキモノ稻作改良養蚕改良森林蕃殖ノ三項ヲ以テ大方針ト議定セシカ本年森林ノ件ニ付テハ何等ノ問題モ差出ダサレサルカ本員ハ森林蕃殖ニハ大ニ意見アリ尙調査ノ上建議セント欲ス差支ナキヤ

會頭(山田) 差支ナシ是ヨリ第一問題審議ニ移ラントス

十六番(大場) 本會ハ開會以來非常ノ勉強ニテ一度モ休憩セシコトナシ斯ク引續クト會場ハ兎角倦怠ノ摸樣アリ就テハ我々建議書ノ調査チイダシダキ次第モアレハ暫時休憩セラレンコトヲ望ム

會頭(山田) 十六番ノ希望モアリ暫時休憩ス

于時午前十時三十分休憩

午前第十一時十分開會

會頭(山田) 引續キ開會ス

二番(齋藤) 第一項ニ物産ノ種類並其勸誘ノ手續云々トアルカ該種類ノ義ハ各々ヨリ答述スル様イダシ又勸誘ノ點ハ町村長ニ遣ラシムル外ナカルヘシト考フ

十九番(大泉) 出品ヲ勸誘スヘキ物産ノ種類ヲ調査セシカ縣廳ニテ調査セシモノト左程相違ナシ又勸誘ノ手續ハ二番ト同シ一本本郡ハ大小豆ノ如キ他ニ比較スレハ其質至テ粗惡ナリ併シ割合其價モ廉ナルヲ以テ出品セシメントス又小國産馬ノ如キ一層ノ勸誘ヲナシテ出品スル様イダシ生糸真綿等ハ稍々可ナリト雖トモ上等ノ品ナシ多少織物産物アリト雖トモ是レ亦下等ニ位シ見ルヘキモノナシ併シ何レモ其割合ニ價格低廉ナルヲ以テ勸誘シテ出品セシメタキ者ナリ又無比品トシテ寒國産西洋橋ノ如キ氷リ豆腐ノ如キ氷リ餅ノ如キ上方ニハ極メテ不足ノ品ナルヲ以テ暖國ニハ珍ラシキモノトシテハ勸誘シテ出品セラレンコトナシ然シテ其手續ハ適任者ニ委員ヲ命セラレ出品勸誘及其取扱方等是マテノ經驗ニ依テ親シク各村長ニ傳ヘ漸次下々至ルマテ心得方ノ通スル様懇ロニ取扱ハレンコトヲ希望ス且ツ又郡市役所及民間ニモ夫々適任者ヲ撰定シテ委員ヲ設ケラレタシ

廿一番(佐藤) 出品スヘキ種類ニ付テハ質問會ノ折各員ヨリ縷々陳ヘラレタルコトナルカ大畧盡キシコトヲ思フ只本員ノ差加ヘタシト思フモノハ第三回内國博覽會ノトキ美術館へ本縣へ差出セシモノヲ見受ケサリシ大方出品セサル可シト考フ第四回内國博

覽會ノ折ニハ是非勸誘シテ美術品モ出品セラレタシ又今ヨリ望ミオクハ早計ナレトモ
 第四回博覽會本縣出品陳列所ノ旗ハ前回ノモノヨリ一層大ナルモノヲ掲ケラレタシ
 六番(本間) 大体二番ト同感ナリ只本郡ニテ勸誘シテ出品セシメタシト思フモノハ手向
 ノ産ニテ手向電ト云フモノナリ之ハ格別甘キモノニアラサレトモ種々ノ色採リナトナ
 ナシ一寸珍ラシキモノナレハ矢張一地方ノ物産トシテ出品セシメタキ考ナリ

三番(長谷川) 本員ハ六番十九番トハ大ニ意見ヲ異ニセリ本縣殖産興業ノ發達ヲ計ルニ
 ハ其方針ヲ定ムルコト肝要ナリ若シ然ラサレハ諸事躊躇シテ容易ニ其功績ヲ見ル能ハ
 サルヘシ假令ハ恰モ兩頭蛇ノ如ク彼ハ右彼ハ左ト云フ如キモノニテ向キ次第ノ進路ナ
 リト云カ如シ爰ニ其方針ヲ定メ置カサレハ本郡ニハ納豆ノ名物アリ我郡ニハ豆腐ノ名
 物アリト云フニ至ルヘシ六番十九番等ハ氷豆腐氷餅手向電等誘導シテ出品セシメタシ
 トイハル、モ是等ノモノハ決シテ本縣ノ著名物産トナラサルヘシ是等些細ノ事ハ總テ
 當局者ニ一任シ本縣ノ他日重要物産トモナルヘキモノニ向テ充分ノ希望ヲ述ヘラル、
 様イタサレンコトヲ望ム故ニ本員ハ豆腐ヤ電等ニ力ヲ込メテ誘導スルニハ及ハサルヘ
 シト考フ然シテ勸誘ノ手續等ハ從來ノ通りニテ可ナリ又種類ハ總テ規則範圍内ナラハ
 何等ノ品ト雖トモ出品セシムル方宜シカラント考フ

十一番(金子) 本員ハ三番ト同感ナリ只第三回内國博覽會ニハ本縣ニテ蠶種ヲ出品セシ
 ト云フ方針ヲ取ラレシカ本年ハ盛シナル養蠶地ヨリハ大抵出品セリ獨リ本縣ノミ出品
 セサルヲ以テ蠶種ハ産出セサルカノ感ヲ抱クモノアリシ本縣ノ蠶種ハ他縣ニモ其名ノ

知ラル、モノナルヲ以テ第四回ニハ是非出品セシムル様取斗ハレシコトヲ希望ス

三十五番(酒井) 米生糸織物等本郡モ追々改良シ一物産ナラントス故ニ木綿織モ勸誘シ
 シテ出品セシメタキ考ナリ次ニ苧菓ノコナルカ其品ノ少ナキニ拘ラス名ヲ博セシハ日
 本全國中結果ヨキ一等ノ位置ヲ占メ居ルカ故ナリ本縣ヨリ産スルモノハ他ニ於テ決シ
 テ成熟セサル實況ナリ一昨年日本農會ニテ品評會ヲ開キシ時松嶺會ヨリ一二種出品シ
 テ二等賞ヲ得同時ニ松嶺會ノ出品ヲ買ハントシテ電報ヲ以テ照會セリ蓋シ苧菓ハ土地
 ニ適シ努力少クシテ收益多シ故ニ日ナラスシテ本縣ノ特有物産トナルヤ信シテ疑ハサ
 ルナリ況ンヤ二十八年頃コナレハ交通相開クモ産額増加スレハナリ

三番(長谷川) 米生糸織物等ヲ第一トシテ力ヲ込メテ無理ニモ出品セシムル様獎勵セラ
 レタシ其他ノモノハ郡長ニ示シ夫々適當ニ獎勵セラレテ可ナリ

十一番(金子) 本員モ三番ト同感ナルカ尙他ニ海外ニ輸出スルモノハ獎勵シタキ考ナリ
 即チ人參薄荷ノ如キモノトス本員ハ縣下ニ消費スルモノハ敢テ出品セサルモ可ナリト
 思フ

三十四番(細梅) 本郡ニテハ重ナル物産トシ誘道シテモ出品セシムヘキハ米麥大豆小豆
 繭生糸からむ薄荷煙草等トス以上ノ種類ハ是非力ヲ込メテ誘道セラレシコトヲ希望ス
 會頭(山田) 本案ニ就テハ是々ハ獎勵シ是々ハ隨意ニ出品セシメヨト云フ上ハ獎勵スヘ
 キ分ニハ特ニ補助金ニテモ與フル譯ナルカ

三番(長谷川) 補助ハ皆同一ナリ只勸誘上力ヲ込メルト込メサルトニアリ

十九番(大泉) 三番ト同感ナリ然シテ本郡ハ乘馬ヲ出陣致シヌキ考ナリ本員ハ決シテ珍
ヲシキモノ、ミ出スト云フ旨趣ニアラス

一番(林) 出品ニ制限ヲ付ケサレハ實ニ致シ方ナキ程出品スヘシ其邊ノ見込ハ如何
説明員(竹尾) 一番ノ御尋テナルカ出品セシムルトスレハ豫算ヲ立テサルヲ得サルヘシ

故ニ始メヨリ夫々見込ヲ付シ豫算ヲ立テ手ヲ付ケサルヲ得ス依テ各郡市主任者ト其邊
ノ協議ヲ盡シ方法ヲ定ムル積リナリ

一番(林) 出品ノ仕方ハ是迄ノ如ク何々何程ト云フカ如ク割當ラル、見込ナルヤ
説明員(竹尾) 規則ノ範圍内ニテ出來得ル丈ケハ遣ル考ナリ然シテ種類中ニハ割合ヲ付
スル權ナルヘシ又方法ハ是迄ノ仕組ヨリ敢テ別議モナカルヘシ

十五番(白田) 出品ニ就テハ夫々勸誘セラル、ナラン假令ハ爰ニ一個ノ茶盃細工セリ三
十日トカ四十日ヲ費ヤセシト云フカ如キモノモ出品セシムル見込ナルヤ

説明員(竹尾) 物ノ性質ニ依ル譯ニテ一様ナラザルヘシ爰ニ從來ヨリ越テ織ルモノアリ
併シ細工モ稍々可ナルヲ以テ今回ノ出品トシ花莖ヲ織ラシテ出品スルト云フカ如キ獎
勵ハナサ、ル考ナリ

二番(齋藤) 第一問題ニ就テハ大概明リシ事ト思フ又別段數ヲ取ルニモ及ハサル可シト
考フ

一番(林) 出品誘導方ハ種類ニ制限ヲ付サスシテ只勸誘ニ就テノミ大畧ノ數ヲ申聞カセ
總テ出品人ノ希望ニ任セラレヌシ

十五番(白田) 數ヲ試ミラル、カ
會頭(山田) 數ヲ探ルト云フ事ハ面白カラヌ結果アツテハ不都合ナレハ此案ニ就テハ別
ニ數ヲ擧ケサル考ナリ

二十六番(柴田) 然ラハ本案ニ就テ默シテ居ラル、會員ハ縣廳ノ見込通リト見ラル、譯
ナルヤ

會頭(山田) 勿論可ト認メラル、答トセン
三十五番(酒井) 明日迄實考ノ時間ヲ與ヘラレタシ

二十七番(荒木) 本案ノ可否ハ明朝迄延期セラレシコトヲ望ム
十一番(金子) 默シテ居ラル、會員ハ縣廳ノ見込通リト見受ラレテハ大變ナリ如何様ノ
間違モナキニアラス故ニ本員ハ此場合ニ數ヲ試ミテ、様致シ度考ナリ

十六番(大場) 數ヲ擧ケラル、事ヲ希望ス若シ數未上ケテサルトキハ默シテ居ラル、
議員ニ就キ一々意見ヲ問ハレン事ヲ望ム

二十番(齋藤) 理屈張レハ一事一事ニ就テ數ヲ取ルヨリ外ナカルヘシ本會ノ性質タル素
ヨリ知事カ行政ノ方針ニ付諮問スルコトナレハ此數ヲ探ルヤ否ヤニ就テハ我々ハ審チ

容ル、所ニアラサル可シ果シテ會頭ニ於テ本會ノ輿論ヲ認メラレシ上ハ殊更ニ數ヲ擧
グルノ必要ナカルヘシ

會頭(山田) 本日ハ時刻モ移リタレハ是レニテ散會セン
于時午後一時五分散會

四三

○九月一日午前九時十分開會

出席會員二十九名

會頭(山田) 是ヨリ開會セン

二十六番(柴田) 第一案第一項ニ就テノ審議ナルカ關係者三番十一番等未ダ出席セサレハ後ト廻シトシテ第二項ヨリ開カレンコトヲ望ム

會頭(山田) 二十六番ノ注意モアリ第一項ヲ後ト廻シニシテ第二項ノ審議ニ係ル事トセ

十九番(大泉) 第二項ニ付答申セン是迄ノ手續モアリ今殊更ニ申述ル迄ノ事ナキカ聊カ一言シ置ガントス別ニ惣代人ヲ撰ムトスルモ出品者ノ希望ニアラサレハ無益ナリ故ニ出品者ヨリ撰マシムル方適當ナルヘシ然シテ其撰出方ハ三置賜最上地方ノ如キ養蠶物ノ出品物多キモノニ對シテハ其地方重ナル出品二種ニ就キ二名トス又南置賜最上及南村山郡等ニ陶器ノ産アリ左レハトテ是等ヨリモ惣代人出ス譯ニハ至ラサルヘシ故ニ是等ノモノニハ前兼子サセ度考ナリ若シ兼子サスルコト能ハサルトキハ其隣區ニ照會スルコトモアルヘシ然シテ經費ハ先以テ縣稅ヲ主トシテ他ハ出品者ニ於テ夫々手配ナシテ外ナカル可シ

十九番(白田) 是迄ハ如何ナル取扱チナセシヤ

説明員(赤谷) 是迄ハ出品總代ヲ縣稅ヲ以テ撰ハセシ事ナシ本縣ハ兎角實業ニ就テハ度

合ハ後レ居ル故ニ是迄斯様ナ會ノアル度毎ニ可成汎ク見セ度考ヨリ惣代人ヲ出サセントセシモ成ラズ故ニ第三回ハ縣會ニ惣代人ノ旅費ヲ請求セシム否決セリ依テ郡費ヲ以

テ東置賜西置賜西田川等ヨリ都合六名程出タセリ第四回ハ惣代人ヲ各郡ヨリ出スヤウ是非爲シ度考ナリ

十八番(加藤) 十九番ト同感ナリ

會頭(山田) 十九番ノ説ハ種類ハ重ナルモノナレハ種類ニ付適宜ニ撰ミ舉グル譯カ

十九番(大泉) 撰擧ノ事ハ夫レ迄ニハ及ハサルヘシ出品惣代ハ米養蠶ニテ二人他ハ出品

者ノ適宜ニ任セ可ナラン

説明員(竹尾) 惣代人ニ給スヘキ費用ハ各郡市何程ツ、ノ見込ナルヤ

十九番(大泉) 夫レハ考ヘ置カサリシカ併シ惣代人ハ凡ソ百二十日ヲ要スルトスレハ一

日一圓ツ、トシ百貳拾圓トシ三分ノ一ハ縣稅ヨリ三分ノ一ハ郡費ヨリ三分ノ一ハ本人

ヨリ出タサシムルト云フ考ナリ全額ヲ地方稅ヨリスルモ郡費ヨリスルモ何レモ容易ナ

ラス故ニ斯ク支出セシナラハ適當ト思ヒシ譯ナリ

十六番(大場) 十九番ニ質問セン穀物ヨリ一人又生糸織物ヨリ一人トシテ其他ハ出タサ

ヌ見込ナルヤ

十九番(大泉) 夫レハ三番十一番等ノ云フ如ク穀物ヨリ一人生糸織物ヲ含シテ一人トス

其他重要物産アル所ハ假令ハ三人トスルモ四人トスルモ經費ノ都合アルヲ以テ其郡ニ

任スル積リナリ又隣郡ヘ照會シテ遣ルモ宜シ併シ成ルヘク多ク出スト云フ方針ニ向テ

進マントスル考ナリ

六番(本間) 十九番ニ賛成セントス併シ三分ノ一縣稅三分ノ一郡費三分ノ一自辨スルト

云レシカ之ハ到底行ヒ難カル可シ十九番モ此處ハ思ヒ切テ一人ニ付府縣稅ヨリ補助
金ハ百圓ツ、ホシ工業盛ナル地ハ三名位トシ本郡ノ如キハ二名位トセラレダシ然シテ
又總代人撰出方ハ近來各地共撰舉ト云フコトハ兎角八釜敷不穩ニ付縣廳ニテ撰ハル、
撰致シタキ考ナリ

二番(齋藤) 大体ハ六番十九番ト異ルコトナシ併シ全額ヲ全ク多額ニスレハ行レ難シト
思ス考アリ故ニ縣稅ヨリ出スハ六百五十圓外郡市ヨリ六十圓ツ、トスル方適當ナラン
然シテ又撰出方ハ素ヨリ公共的ノ事業ナレハ當業者郡會市會等ニテ撰フ事ニ致シ度考
ナリ

六番(本間) 本員ハ一郡二名ツ、ハ是非出席セシムル事トシタシ一郡二名トシテ百圓ツ
、給シ本會ヘハ成ルヘク參會セシメ度考ナリ
二番(齋藤) 郡ノ模様ニテ然ラン我郡ノ如キハ一名ニテ充分ナラント思フ
二十七番(荒木) 看守人ハ如何ナル見込乎
説明員(赤谷) 別ニ雇入ル、積リナリ

十五番(白田) 總代人ノ出京ヲ百三十日間トシ一日一圓ツ、トスルト云フ說ナルカ一日、
五十錢ツ、ニテ相當オラシ素ヨリ是等ハ篤志家ニアラサレハ爲シ能ハサルコトナルヘ
シ次ニ撰出方ハ郡市幾ニ托シテ可ナリト思フ

十六番(大場) 六番二番ニ照會セン金額ハ暫ク置キ配當方ハ二市十一郡へ同額ヲ配當ス
ル時ハ米澤市山形市等割合好過ギル事トナラン工業ハ南置賜南村山山形市ノ如キハ更

ニナシ本員ノ考ニハ郡市ニテ一人トシテ補助セント云フ考ナリ

二番(齋藤) 一應尤ノ様ナルカ工業ハ更ニ無ヒ譯ニアラス著ハル、程ナシト云フ譯ニテ
則チ進マスト云フ處ナリ斯レ地方ニハ尙方ヲ込メテ遣ラチハナラヌ事ト思フ故ニ先ツ
凡ソ五拾圓位トシテ郡市ノ區別セヌ方宜シカラント考フ

三十二番(小川) 三十二番ノ考ニハ米澤市ニハ南置賜郡ヲ入レ山形市ニハ南村山郡ヲ入
ル、事トシ則チ元ノ一郡ニ付之チ一區域トシ都合十一區トナサン然ラハ地價ニアツテ
モ戸數ニ於テモ稍平均シ居レハナリ

二番(齋藤) 三十二番ノ說ハ尤ナレトモ實際ニ於ケルヤ中々困難ナリ何トナレハ表面上
宜シキモ郡ハ郡市ハ市ナレハ片押シニテ到底行ハレ難シ此處ハ三十二番モ一步ヲ讓ラ
レタ

六番(本間) 總代人ハ一名ニ限ルカ
十五番(白田) 一名ト限リシニアラス
一番(林) 撰舉スル手續ハ郡市長ニテ撰拔スルトスレハ縣廳ヨリ補助シ又郡費ヨリ補助
スルト云フハ不當ニハアラスカ縣稅及郡費等ノ補助ヲ受ケ出發スル惣代人ナレハ郡
會ニテ撰出スルカ將タ出品者ヨリ撰舉セシムルカ寧ロ出品人中ヨリ撰舉セシムルハ公
平ノ處置ナルヘシ

十五番(白田) 郡會ニテ撰舉スヘシト言ハレシカ郡長ヨリ郡會ニ諮問シテ定ムルモ何等
ニ差支ナカル可シ

二番(齋藤) 五番ト同感ナリ無論郡市長ハ郡市參事會員ニ計リ撰定スヘケレハナリ
 一番(林) 縣會ニテ通過スルモ若シ郡會ニテ否決セシ場合ニハ如何ナル見込ナルヤ
 二番(齋藤) 郡會ニテ否決スル位ノ郡會ナラハ其郡ニハ無論縣稅ノ補助ナモ下又迄ナリ
 一番(林) 郡費ヨリ入支出ハ補助ナルヤ否ヤ
 二番(齋藤) 補助トセヌ方然ラン郡制ノ上ニ郡ノ公益ナル事業即チ斯ル事業ヲ議スル
 一差支ナシト思フカ故ニ郡市會決議ヨリ出シ不足ハ縣稅ヨリ補助スルト云々考ナリ
 一番(林) 是迄縣稅ナリ郡費ナリ何レモ補助ト思ヒシカ只今二番ノ明言ニテ了解セリ本
 員ハ二番ト大反對ナリ何ト辨レハ郡會ハ決議スレハ差支ナキモ若シ否決等ナセハ大
 ニ不都合ナリ出品者中ニテ撰定スルハ適當ナラン若シ郡ニテ否決ト云フ場合ニハ自費
 ニテハ大ニ敷營業者申合セテ出京セシムルト云場合ニモ縣稅ヨリ補助セヌト云フハ實
 ニ不都合極レリト云フ故ニ若シ此等ノ場合出品者中ニテ撰定セシトキハ縣稅ノ補
 助ハ與フ様致度考ナリ
 二番(齋藤) 一番ノ說ノ如クナレハ一個人ニ迄補助スルト云ウニ至ル可シ一個人ニ對シ
 テハ縣會モ是迄金ハ出サヌ慣例ニナリ又團體ト見做シ能ハサルモノニハ無論補助ハ爲
 シ得サルナリ
 會頭(山田) 最早論旨モ盡キタレハ試ニ數ヲ擧ケン
 二十一番(佐藤) 二番ヲ賛成ス
 二十三番(本間) 二番ヲ賛成ス

六番(本間) 本員ハ少シモ金ノ多キ方十五番ヲ賛成ス
 會頭(山田) 裁決セン論旨數派ニ分レ居ルヲ以テ先ツ撰出方ヨリ決チ擧ケン
 十五番ノ撰出方ヲ可トスル方起立
 起立者七名 少 數
 二番ノ說各郡市長ニ任スルト云フニ同意ノ方起立
 起立者十七名 多 數
 金額ニ就テ決チ擧ケン十九番ノ說惣代一名ニ付百貳拾圓トシ三分ノ一ハ地方稅三分ノ
 一ハ郡費ヨリ三分ノ一ハ自費ト云フ說ニ同意ノ方起立
 起立者二名 少 數
 十六番(大場) 二番ニ照會ス十五番ノ說ト大差ナシ此場合ニ讓リ合チ付ケラレテハ如何
 二番(齋藤) 十六番ノ照會モアリ十五番ト大差ナキヲ以テ本員ノ說ヲ取消シ十五番ニ賛
 成ス
 會頭(山田) 十五番ノ說縣稅ヨリ六十圓ツ、ヲ給スルト云フニ同意ノ方起立
 起立者二名 二名ヲ除ク
 會頭(山田) 本案第三項ニ移ル
 十九番(大泉) 大体販賣店ノ設計ヲ可トス然シテ其順序ハ出品ヲ勸誘セラル、品ヲ添ヘ
 テ之ヲ販賣スル品何程アルトシテ出願セシメ然シテ縣廳ニテハ山形ナリ米澤ナリ適當
 ノモノヲ呼出シ其方ハ販賣店ヲ掌ル考ナキヤト相談シ右熟談ノ上眞出品ハ相等ノ價格

ヲ定メ正札付トシテ販賣スルノ手續ナリ建物ハ無論縣稅ヲ以テ補助スルノ考ナリ若望
人無之場合ニハ見合スル考ナリ

會頭(山田) 然ラハ十九番ノ説出品種類ハ當業者ヨリ賣ル程アル品ヲ申シ出サセ以テ評
價人ヲ立テ、正札ヲ付ケ之ヲ引受ケテ販賣スルモノニ受負ハスト云フ譯ナルヤ

十九番(大泉) 其通り斯クセサルトキハ兎角持テ返リ品多キ故ナリ
十五番(白田) 設計費ハ幾何ナリヤ

説明員(赤谷) 大凡二百圓ノ豫算ナリ
二番(齋藤) 僅カ二百圓位ノ答ナルカ第四回博覽會ハ各府縣共一層競フテ奮發スルニハ
相違ナカルヘシ本縣ニテ各府縣ノ競フテ遣ルニモ拘ラヌ稍シ第三回位ノ事ヲ遣ルナラ
ハ又大ニ失敗ヲ取ルカ如キコトナシトセス己ニ出品總代人モ遣ルトイフ位ノ場合ナレ
ハ此處ハ一層ノ奮發ヲ以テ是非他府縣ニ譲ラサル様致シ度考ナリ就テハ僅カ二百圓斗
リニテ販賣店ヲ設置シ得ルヤ將々各府縣等へ照會ノ上豫算セシモノナルヤ

説明員(赤谷) 第三回博覽會ノ折設置セシ各府縣ニ照會セシニアラサレトモ五間ニ六間
ノ建物トシテ一坪七圓トシ凡二百圓ナラハ足り得ヘシト思フ

三十二番(小川) 出品運送費ハ何處ヨリ出ス譯ナルヤ販賣店ヲ設クル上ハ相應ニ賣レル
ナラント雖トモ殘品持返ストキニハ其運賃如何

説明員(赤谷) 出品運送費ハ荷造賃共縣稅ヨリ支給スル見込ナリ併シ販賣店へ差出スル
分ハ商品ノ事ナルヲ以テ運送賃ハ給セサル積リ

二番(齋藤) 大体十九番ヲ賛成ス販賣店構造費ハ二百圓ト云フ概畧ノ豫算ニテ宜シカラ
ント思フ

三番(長谷川) 大体ヲ賛成ス縣會ニ於テ審議スル迄能ク其取締方法等ヲ調査セラレタシ
實ニ此取締方ハ肝要ナリ假令ハ出品セシモノト販賣店ニアリシモノト同様ノ品ヲ見セ
其實出品ヨリ劣リタルモノヲ賣付ルコトアラシカ販賣店ヲ設ケテ却テ設ケサルノ惡結
果ヲ著ハスニ至ルヘシ近來織物ハ實ニ粗製多シ染色ノ如キ往々變色スル等ノ苦情ヲ耳
ニセリ以上ノ始末ナレハ此取締ニ關スル當局者ニ於テ充分調査セラレノコトヲ希望ス
又販賣店ハ委託販賣ノ法ヲ用フルノ外ナカルヘシト考フ此邊モ縣會迄能ク調査セラレ
タシ故ニ本員ハ先ツ爰ニ假リニ賛成ヲ表スル事トセン

十一番(金子) 十九番ノ物品取纏正札付ト云フハ至極好キ手段ナルヘシト考フ又三番ノ
云フ如ク委託販賣トナレハ名々競フテ粗品ハ出品セサルヘシ然ラハ委託人ハ心配シテ
販賣セサルヲ得サレハトテ其委託品多額アルヘキ筈モナシ然シテ委託人ノ賣品價金
拾圓アリトシ是レカ爲メニ委託ヲ受ケ以テ往復ノ旅費ニモナラス悉ク委託人へ自辨セ
シムルコト、ナレハ是ヲ引受シ者ノ迷惑實ニ少々ニアラサルヘシ就テハ販賣店建築費
ノ外右委託人ノ旅費片道カ若クハ其運搬費ヲ補助セント云フ考ナリ

十五番(白田) 本案ヲ可トス該費目二百圓ト云フテモ素ヨリ豫算ナレハ判然セヌト答ヘ
ラレシカ先ツ設置スル事トシテ縣會ニ提出セラレ然ルヘシ

六番(本間) 本員ハ二番十五番ト同感ナリ第四回博覽會ハ決シテ他府縣ニ劣ラヌ様飽ク

迄モ盡力セラレシコトヲ希望ス

會頭(山田) 十一番ノ說委員引受人ニ片道旅費及賣品ノ運賃ヲ給スルカト云フニ就テ各員ノ意見ハ如何

十六番(大場) 十一番ノ說ハ素ヨリ商品ノコトナレハ其邊迄ノ心配ハナカルヘシ是等ハ其營業者ニ於テ充分考フル所ナルヘシト思フ

會頭(山田) 本案第三項ハ最早豫論ノ歸着セシ所ヲ認メタリ別ニ決テ上ルノ必要ナシ直ニ引戻リ第一項昨日ノ續キニ移ラントス

十六番(大場) 第一項ハ說ナケレハ別ニ決テ擧ケラル、ノ必要ナキモ論旨數派ニ涉リシヲ以テ試ニ數ヲ上ケサレハ議何處ニアルヤ不明ナルヘシ

三十五番(酒井) 數ヲ取レハ隨テ種類ノ制限ヲ付スル譯ニナルカ縣廳ニテハ獎勵上大體差支フル事ナレハ三番ノ注意ノ如クセラレシナラハ敢テ決テ上クルモ不都合ナカルヘシ

三番(長谷川) 會長ヨリ默シテアル會員ハ賛成ト見做スト言ハレシヲ以テ決テ上ル事ヲ主張セリ

二十六番(柴田) 此事ハ本員ヨリ持出シテ八釜數ナリシカ別段決テ取ラル、事ナカルヘシ三番ノ意見ハ意ヲ其點ニ向テ遣ツテ貰フト云フニセラレタシ

會頭(山田) 決テ取ルヤ否ヤニ就テ隨分八釜數ナリシカ三番二十六番等ヨリ別ニ決テ取ルノ必要ナキ旨述ヘラレシヲ以テ當局者ニ於テハ先ツ專ラ輸出品ニ向テ力ヲ込ムルト

云フ輿論ニ依テ進ム事トシ決テ採ラサル事トス

三十五番(酒井) 本員ハ米穀雜物等ニ就テハ素ヨリ異議ナシ然シテ人參モ上リシガ爰ニ菓實ノ一點遂ニ著ハレス當局者ハ如何ナル考テ有セラル、ヤ販賣店菓實ハ無論出シ得ラル、事ト思フカ如何

説明員(赤谷) 勿論出品ヲ得ラル、考ナリ

六番(本間) 三十五番ハ實ニ菓實ニ熱心セラル、ハ感服ノ外ナシ然シテ菓實ハ七月出來得ルカ

三十五番(酒井) 六番ノ問ニ答ヘシ日本在來ノモノハ出來ス本員ノ出品セントスルモノ

ハ西洋林檎ナリ此種類ハ種類アルモ出品ハ尤モ貯藏ノ長ク出來得ル品ニテ冬期勿論四月五月頃マテ貯藏シ得ルモノヲ出品スル考ナリ又早熟ハ在來日本林檎ヨリ早ク採リ得ラル、モノアリ是等ノ菓實ハ他日本縣ノ特有物産トナルヤ三十五番ノ疑ハサル所ナリ

會頭(山田) 本案第一項ハ決テ採ラザル事トシ爰ニ止メ是ヨリ第四案ニ移ラントス委員ノ方調査出來シヤ

三番(長谷川) 第四案調査未ダ結了セス後ト廻シニセラレシ事ヲ望ム

十六番(大場) 本日ハ十七番モ欠席セリ明日篤ト調査スルノ考ナレハ明後日ニ廻サレタシ

會頭(山田) 然ラハ第四案ハ後ト廻シニセン

十五番(白田) 十七番一人本日欠席ナレハトテ後ト廻シトハ如何ナル譯ナルヤ

會頭(山田) 十七番ハ蠶糸業組合取締所頭取ニテ本案ニハ直接ノ關係アリ殊ニ委員ニ附
 托セシ建議ノ調査モアレハ旁々十七番ノ出席セシ場合ニ審議セント云フ考ナリ
 卅五番(酒井) 建議書調査ハ明朝迄ニ結了シ第四案ニ取掛ラサル前ニ審議スルコトニ致
 シタシ然レ本日本日ハ例刻ニモナレハ是レニテ閉會セラレシコトヲ建議ス
 二番(齋藤) 十五番(白田)三十五番ノ建議ヲ賛成ス
 會頭(山田) 委員方ノ調査モアレハ本日本日ハ是迄トシテ散會セン
 于時零時五分散會

○九月二日午前九時十分開會

出席員二十九名

會頭(山田) 是ヨリ第四案ノ審議ニ取掛ラン尙此前三建議書ニ就テ委員諸氏ノ調査出來
 セシナラハ此場合ニ報告セラレタシ
 廿六番(柴田)建議書ハ會頭ヨリ指名セラレタル一番三番十六番十二番及本員トモ五名ノ
 調査委員ニテ調査セリ其結果ハ本員ヨリ報導スル事トナリシカ五番廿番ノ建議ハ委員
 會ニ於テハ採用セサル事ニ決定セリ其要旨ハ五番ノ建議ハ蠶種製造家ハ蠶種ノ濫造ヲ
 極ムルヲ以テ蠶糸業組合中ニ蠶種家組合ヲ設ケントシ又廿番ノ建議モ是ト稍々均シク
 近來蠶種粗悪ニ流レ之レカ改良ヲ圖ルハ原種製造所ヲ設クルニアリト云フ儀ニシテ何
 レモ蠶種ノ改良ヲ旨トシ兩建議共縣稅ノ補助ヲ仰キ實行セントスルニアリ然シテ爰ニ
 委員會ハ素ヨリ蠶種ノ検査ハ肝要ナリ第四案審議ノ場合ニハ是等大ニ研究ヲ要スル事

ナリトシ先ツ以テ本建議ヲ採用セサル事トセリ然シテ建議書ヲ其儘留置カル、事トス
 五番(廣居) 蠶種ノ検査ヲ縣稅ニテ實行セラル、見込ナルヤ

廿六番(柴田) 蠶種ハ實ニ養蠶ノ根元ナリ是非之レカ改良ヲ計畫セサルヘカラス就テハ
 先ツ第一着ニ縣稅ヲ以テ完全ナル蠶種検査所ヲ設置セントスルニアリ第四案討議ノ場
 合ニ充分陳辨スルノ考ナリ

五番(廣居) 委員會ノ見込ハ只蠶種ノ検査ヲ縣稅ヲ以テスル見込ノミカ又之ニ續テ細カ
 ナ手續迄モナス考ナルカ

廿六番(柴田) 別段細カナル見込ナシ詰ル處縣稅ヲ以テ充分ナル検査ヲ遣ツテ賞ヒ度ト
 縣應ニ頼ムト云フ譯ナリ

五番(廣居) 本員ノ建議セシモノハ決シテ斯様ナル趣旨ニアラス蠶種ヲ只検査ノミセシ
 トテ決シテ改良スル能ハサルヘシ完全ナル検査ヲナセハ如何ニモ微粒子病ハ撲滅シ得
 ルト雖トモ其繭ノ形狀種類ノ雜駁等如何ナル手續ヲ以テ矯正スルノ見込ナルヤ

二十六番(柴田) 其邊ノ處ハ充分縣應ニ注文スルノ考ナリ大体縣應ニ任シテ縣稅ニテ遺
 ルト云フ譯ナリ

十八番(加藤) 第四問題ハ素ヨリ是等ノ事件ヲ審議スヘキ案ナリ直ニ第四案ニ移ラレン
 コトヲ希望ス五番モ第四案審議ノ場合ニ述ヘラレテ差支ナカラシ

五番(廣居) 十八番ヨリ注意モアリシカ本員ハ蠶種ノ検査ヲ縣稅ニテ實行セラル、ニモ
 蠶種組合ヲ必要ト認ム爲ニ本員ノ建議是非本會ニテ採用アランコトヲ希望ス

會頭(山田) 是ヨリ第四案ノ審議ニ取掛ラン
書記第四問題ヲ朗讀ス

二十一番(佐藤) 説明員ニ問ハン組合取締所ヲ廢シテ各組合ヲ自治トナスニ就テハ管下
各蠶糸業取締ハ如何ニスル見込ナルヤ

會頭(山田) 是レハ過日來説明セシ如ク未タ其見込ノ付カサル譯ナリ縣廳ハ專ラ其調査
中ナリ本案ヲ提出セシハ如此場合ニハ如何ナルヤ各員ニ諮問スルニアリ

十九番(大泉) 本員ハ本問題ニ就テハ取締所ヲ廢シ各郡市組合ヲ自治トナス適宜ナル方
法ヲ設クルヲ可トス其所以ハ蠶糸業組合員ハ各營利業ニシテ各自ノ信スル相當ノ營業

ヲナスモノナレハ一定ノ取締所ヲ設クルハ宜シカラサルヘシト信ス又改良進歩ヲ圖ル
ノ點ヨリ言ハ、同意ノ人適宜結合シテ計畫シテ可ナリ蠶糸業ニ取締ヲ設ケシハ全ク海

外輸出ニ對シ粗製濫造ヲ矯正スルト云フ一點ヨリ起リシカ本縣ノ如キ最早今日トナツ
テ營業者一般ニ進歩シ最初ノ如キ取締所ヲ設クルノ必要ヲ認メス故ニ是等ハ郡市ニ於

テ適當ノ方法ヲ設クルヲ可トセシ所以ナリ就テハ從來蠶糸業取締所ノ事務ハ縣廳ニ托
スル考ナリ

會頭(山田) 自治トハ假令ハ設ケ度キモノハ設ケ設ケタクナキモノハ設ケヌトモ宜シヒ
ト云フ事ナルヤ然シテ設ケル事トセハ縣廳ニテ規則等ヲ發布セシムルノ意見ナルカ

十九番(大泉) 管内何處モ組合廢止ヲ唱導スルモノナケレハ矢張此儘繼續スル考ナリ
會頭(山田) 蠶種ノ検査ハ何處ニ於テ實行スル見込ナルヤ

十九番(大泉) 建議調査員ヨリ建議アリテ縣稅ニテ検査スルコト、セハ賛成ヲ表スル考
ナリ

三十五番(酒井) 本案ニ就テハ本會ノ輿論己ニ取締所ヲ廢シ各組合ヲ自治トナスニ定マ
リシモノ、如シ素ヨリ本員ノ考フル所ハ此處ナリ斯ク自由ニセサレハ到底改良増進杯

ト云フ如キハ覺束ナカルヘシ而シテ蠶糸業組合ハ固ヨリ自治タルヘキ者ニシテ本省ニ
於テモ爲ニ準則トシテ發布シ置クニアラスヤ是則テ地方民度ニ據リ設置セシムル意ニ

シテ全ク自治ノ精神ナリト信ス故ニ本員ハ斷然取締所ヲ廢セント欲ス然シテ是ヲ廢セ
ハ如何ナル影響カアル各地其民度ニ適スル組合ヲ設ケ互ニ改良發達ヲ圖リ意外ナル好

結果ヲ顯ハスニ至ルヘシ實ニ今日ノ取締所ハ有名無實ナリ部内組合ノ取締ハ勿論取締
所ノ維持スラ常ニ困難シツ、アリテ只經費ノ徵收ニノミ設ケ置ク者ト謂ハサルヲ得ス

實ニ今時斯ル無益ノモノヲ設ケ多額ノ費用ヲ投スルヨリハ速ニ是等ヲ全廢シ換ルニ後
進者ノ養成ヲ企圖シ斯業ノ發達ヲ圖ラレン事實ニ三十五番ノ希望ニ堪ヘサル所ナリ

十五番(白田) 本案ニ就テハ本員モ取締所ヲ廢シ各組合ハ自治トナス精神ナリ多額ノ經
費ヲ要シ取締所ヲ設クト雖トモ實ニ其效能ヲ認メサルナリ然シテ各組合ハ之ヲ小ニス

ルモ大ニスルモ各郡市ノ自治ニ任セン

二十六番(柴田) 大体十九番十五番三十五番ト同感ナリ小區分ニ於テハ多少異ナル所ア
リト雖トモ先ツ無用ノ長物タル取締所ヲ廢止スルヲ可トス然シテ各郡ニハ是迄ノ通り
組合ヲ置キ又西置賜郡ノ如キ分業ノ必要アレハ矢張分業組合トナスモ可ナルヘシ何セ

蠶糸業組合ハ農商務省準則ニ依テ發布セラル、本縣蠶糸業組合規則ノ取消ハサル以上ハ全廢スル事能ハサル可シ尙序ニ述ノ蠶種検査ヲ縣稅事業トナサントスル理由ハ實ニ本員等ノ宿望ナリ原種用検査ハ國庫ノ支辨ナレハ製糸用検査ヲ縣稅支辨トナスニハ無論相當ナルコト、考フ蠶種ノ検査ニ就テハ詳細ナル事ヲ知ラスト雖トモ先ツ第一空費ヲ省キ完全ナル検査ヲ執行スル規程ヲ設ケラレシコトヲ希望ス爰ニ取締所維持論者アリト雖トモ蠶種検査ノ縣稅事業トナルノ曉ニハ最早取締所ノ必要ナキヲ感セラル可シ

廿番(加藤) 本員ハ無止事故ニテ所勞セリ建議ハ如何相成リシヤ

會頭(山田) 五番二十番ノ建議ハ全ク本案ニ關係ナ有スルヲ以テ殊更ニ建議ヲ可否スルノ必要ナキヲ以テ採用セスト調査委員ヨリ報告シ會場ハ別ニ意見ナキヲ以テ其儘ニナリ居レリ

三十番(加藤) 本員モ取締所ヲ廢シ各組合ヲ自治トナス說ニ賛成ス本員等ハ一體蠶糸業ニ付テハ充分經驗ナキカ只説明等ニ依リ其事情ヲ知ルニ至ルモ本邦ニテハ實ニ欠クヘカラサル重要物産ナリ故ニ維新以來政府モ大ニ之レカ保護獎勵ヲナシ稍々今日ノ域ニ進歩セリ最早本業ニ關シテハ保護檢束ノ必要ヲ認メサルナリ故ニ十九番ニ賛成ス

五番(廣居) 本員ハ十九番十五番三十五番トハ大反對ニシテ飽ク迄モ取締所及事務所ヲ是迄ノ通り維持セント欲スルモノナリ只蠶糸業組合ハ無効ナリ無用ノ長物ナリト云フモ全ク其機關ノ運轉宜シカラサルカ故ナルヘシ蓋蠶糸業組合規則ハ其當ヲ得サルカ決シテ得サルモノニアラス該規則ハ實ニ完全ナリ之サヘ實行スレハ充分ナルヘシ我組合

ノ如キハ平田組長就職以來着々歩ヲ進メ熱心組合ノ利害ニ注意シ養蠶業ニ製糸業ニ夫々勸誘怠ラサリシヨリ當業者ハ全ク今日ノ組合ヲ大ニ力トナスノ實況ナリ二十六番等ハ置賜方面ハ非常ニ業務進歩セシ故隨テ組合モ不必要ナリト云フト雖トモ南置賜ノ如キハ稍ク改良ノ端緒ヲ開キタル有様ト云フヘシ獨リ南置賜ニ限ラス只一局部ノ改良セシ所アリト雖トモ各部皆改良ノ域ニ達セリト云フ能ハサルヘシ以上ノ理由ナルニ依リ本員ハ現組合ヲ繼續シテ益々業務ノ發達ヲ圖ラントスルニアリ

二十番(加藤) 第四問題ニ就テハ十九番ト同感ナリ自治トナスヘシトノ事ニ就テ其區域云々ノ廉ハ十五番ノ旨趣ト異リ本員ハ一郡ヲ一組合トシテ分業セント欲スルナリ何トナレハ一小區域ニテハ其制裁充分ナラサレハ到底其効ヲ收メ難シ故ニ本員ハ取締所ヲ廢シ組合ハ分業トスルモ一郡ハ一組合トナサントスルモノナリ

二十六番(柴田) 取締所廢止說ニハ聊カ反對者ナカルヘシト思ヒシニ計ラシヤ五番現レ組長其人ヲ得テ其効能アルヲ述ヘテ然シ五番ノ述ル所則チ自治區トナスニ何ノ差支カアル無用ノ長物タル取締所ヲ廢スルモ何レニ影響スルヤ五番ノ維持說ハ本員ノ了解ニ能ハサル所ナリ

五番(廣居) 荐リニ取締所ヲ無用ノ長物ト言ハル、カ取締所ヲ廢シ各組合ヲ自治トスレハ各地趣ヲ異ニシ隨テ其弊害ノ生スルヤ明カナリ然シテ各組合ヲ如何ニシテ總轄スルヤ

二十六番(柴田) 總轄等ニハ毫モ差支ナシ然シ總轄スルニ及ハサルナリ從來ノ經驗ニヨ

ルモ全國取締所ヲ總轄シタル中央部廢止シ更ニ差支ナキニ非スヤ
 十六番(大場) 十九番ノ說ニ賛成ス二十番ノ各郡組合ヲ成ルヘク一組ヲ通シテ分業組合
 トナサン事ハ同感ナリ併シナカラ縣内ト雖トモ悉ク同一ニ發達セシモノニアラス故ニ
 分業組合ノ必要アル所モアリト雖トモ他ノ發達セサル地方ニテハ分業ノ必要ナカルヘ
 シ故ニ組合ハ自治トシテ可トスル所以ナリ次ニ五番ハ取締所ヲ廢セハ總轄スル所ナシ
 ト憂ヒラル、カ之レハ縣廳ニテ總轄シテ可ナルヘシト思フ
 三十五番(酒井) 本員ハ尙前陳ヲ補ヒ置カントス飽海田川ノ地形ハ山地ト平原ノ地トハ
 全ク其趣チ異ニセリ然ルニ爰ニ同一ノ規約ヲ施シ置クハ即チ行レ難キ所以ナリ故ニ東
 田川西田川兩郡ニ於テハ全ク取締所ヲ廢シ自治トナシ蠶種ノ檢査ヲ嚴ニシ生糸ノ粗製
 濫造ヲ矯正セントスルニ外ナラサルナリ

一番(林) 本案ニ就テハ最早本員ノ述ル所モナキ有様ナレトモ一言セン本員ハ五番ノ說
 ト稍同感ナルモ今日ニハ一般行レサル可シ二十六番ハ荐リニ無用ノ長物ト云フモ本員
 ハ感服シ能ハサルナリ何故ニ無用ニ非サルカト云ハ、則取締所ハ同業者ノ創立シタル
 モノニシテ然シテ今日各組合悉ク其度合異ナルニモ拘ラズ能ク規畫ヲ同一ニセシハ完
 シ組合取締所ノ與テカアル所以ナリ然ルニ取締所ニハ更ニ事業ヲ爲サシメスシテ取締
 所ハ無用ナリ無効ナリト云ハ實ニ酷ナルニ非スヤ本員ハ取締所ハ無効ナリト云ニアラ
 ス無効ニ歸セシムル事ト思フ三十五番ノ說ニ據レハ後進者ノ教育ヲ縣廳ニ望ムト云フ
 モ此等ノ事業コソ充分取締所ニ於テ實行シ何ノ不可カアラソ五番ノ云フ如ク全ク取締

所ニテ働クヘキ道ヲ絶テ然シテ無用ナリト云フ者ノ如シ故ニ此場合取締所ノ維持ヲ希
 望ス

三番(長谷川) 本案ニ對シテハ二十番テ可トス五番ノ說ハ進步ノ度合ニヨリ置クヘシト
 云フ意ナルカ是レハ先入主トナル說ニ非スヤ度合カ異ナルニ依リ取締上必要ナリトセ
 ハ自治体ハ必要ナリト云フ結果ナルヘキニ非スヤ然シテ又事業ヲ爲サシメサル云々ヲ
 說キ無用ノ長物ヲ變シテ有用トナス說ヲ述ラレシカ抑經濟ノ本旨ハ最少ノ費ヲ以テ最
 大ノ成功ヲ求ムルニアリ然ルニ今日ハ一萬圓ヲ投シテ更ニ其効ノ視ルヘキモノナキニ
 非スヤ要スルニ經費ヲ徵收スルカ爲ニ人ヲ要シ人ヲ要スルカ爲ニ金ヲ費スカ如キ實況
 ナリ故ニ本員ハ之ヲ自治トシ分業スヘキハ分業ヲ適宜ニ之ヲ設置スルハ大ニ得策ナリ
 ト思フ

一番(林) 會頭ニ伺ハシ蠶種ノ檢査ヲ縣稅事業トスル說アリシヤ
 會頭(山田) 二十六番ヨリ己ニ提出セリ

一番(林) 然ラハ二十六番ニ賛成ス
 二十番(加藤) 本案ニ就テハ桑角庄内三郡ヲ標準トセラル、カ組合員ハ東田川西田川飽
 海郡共各一千人以上ナレハ豈分業トナス能ハサルアラソヤ
 説明員(竹尾) 區域ハ郡ヲ以テ一區トシ分業スルノ意見ナルヤ
 二十番(加藤) 其積リナリ

十四番(大木) 本員ハ十五番及十九番ト同感ナリ又蠶種檢査ヲ縣稅事業トナスハ二十六

番ヲ賛成ス

五番(廣居) 蠶種ノ検査ヲ縣稅事業トナシ嚴重ニスルハ決シテ惡シキ事ニアラス併シ只微粒子病有無ノミ撰別スル事ヲ得ルモ其種類ヲ撰別スル方ヲ設ケサレハ更ニ其功ナシ故ニ本員ハ是迄ノ通り組合事業トシテ一層嚴重ニナシ度考ナリ

十二番(八島) 製糸用蠶種ヲ縣稅事業トスレハ是迄組合ニ於テ爲セシ事ト違ヒ尤精密ニセサルヘカラス然ルニ本郡ノ如キ多額ノ蠶種ヲ産出スルニ於テハ到底精密ノ検査ヲナシ能ハサルヘシト考フ且本縣内ニハ其検査人ニ乏シ若シ小數ノ検査員ニテ數日ヲ要スルカ如キ場合ニハ續々他府縣ヨリ侵入シ我製種家ノ花主ヲ他府縣製種家ニ專有セラルカ如キ不幸ニ立至ル可シ

二十六番(柴田) 是迄ノ検査ハ如何ナル手續ナリシヤ

十二番(八島) 是迄ノ検査ハ全ク外面上ノ検査ニシテ實際効能アリシモノニアラス原種用トテ亦然リトス何トナレハ原種用ノ如キ廢棄ニ屬セシモノモ不相變同一ニ掃立テ居ル實況ナレハ何レカ嚴重ナル制裁ヲ設ケサルヲ得サル可シ

會頭(山田) 採決セン取締所ヲ廢シ各組合ヲ自治トナス十九番ノ説ニ同意者起立

起立者總員

四名ヲ除ク

各郡市ノ内區域ヲ異ニセテ各郡ヲ一團トナス二十番ノ説ニ同意者起立

起立者總員

七名ヲ除ク

八番(五十嵐) 蠶種検査説ハ二十六番ニ賛成ス其理由ハ近來蠶種ノ濫造甚クシク本郡内

西置賜西村山郡等ヨリ粗製蠶種ヲ持込ムモノ年増ニ増加セリ然ルニ蠶種検査方法ヲ充分セシメテ取締所ヲ廢シ組合ヲ自治トナスカ如キハ或ハ大早計ニ非サルカ故ニ本員ハ縣稅事業トシテ精密ノ検査ヲ行ハント欲スル所以ナリ

二十番(加藤) 本縣各郡市ヨリ産出スル蠶種ノ總額ハ假リニ五萬枚トスレハ一枚ニ付十鏡面トシ總鏡面五十萬鏡面トナル一人一日三百鏡面トスレハ總人員千六百六十六人ヲ要ス各員深ク熟考セラレノコトヲ望ム

十六番(天場) 蠶種ノ検査ハ本郡ノ如キ販賣地ハ検査ノ爲手間取ル等ノ事アリテハ實ニ其損害少ナカラズ故ニ蠶種ノ検査ハ各組合ニ任シテ可ナリトス

會頭(山田) 検査費用ヲ縣稅トシ製糸用蠶種ノ検査ヲ縣稅ニテ行フト云フ二十六番ノ説ニ同意者起立

起立者總員

三名ヲ除ク

十五番(白田) 取締所ヲ廢スルトセハ更ニ規則ヲ改正セラル、ヤ
會頭(山田) 是ヨリ尙縣廳ニ於テ充分審議ノ上規則ノ改正ヲナスコトモアルヘシ第四問題ハ是レニテ結了セリ

干時零時二十分散會

○九月三日午前八時五分開會

會頭(山田) 第六問題ノ質問會ヲ開ク 出席者二十九名

十二番(八島) 是レハ繼續專業カ將タ一年限リノ御見込ナルヤ

説明員(竹尾) 繼續ノ見込ナリ併シ五年トカ七年トカト云フ性質ノモノニアラス則チ本省ニテ西ケ原試驗所ヲ設ケ置ク如ク年限ヲ付セスシテ年々必要ニ應ジテ業務ヲ擴張シ

繼續スルト云フ考ナリ

六番(本間) 技手ヲ備入ル、トアルカ技手ト云ヘハ定メ何モ彼モ出來ル譯ナルヤ假令

ハ馬耕ヲナストスレハ馬耕ノ技藝ニ達シ又土質ノ分拆ヲナス等ノ事アリ總テ是等ノ事

ニ學理ニモ實地ニモ充分ナル人ヲ備ヒ得ラル、ヤ

十二番(八島) 農學士ヲ聘スルトアルカ本員ノ掛念アルハ土地氣候ノ事ニテ六番モ云ハル、如ク充分調査等迄モナシ得ラル、モノカ

説明員(竹尾) 六番ノ質問ハ技手ハ學理モ實地モ出來ル人ヲ備ヒ得ルカト云フ問ナルカ

實地ト云フ事ハ中々區域ノ廣キ語ニテ假令ハ田打モ種漬モ實地ナリ去レハトテ農學士

ニ田打ヲサセ又種ヲ採ラナルト云フ見込ニアラス又農學士ハ氣候土地ノ事迄明ルカト

云フ問ナルカ地質學ハ土性土質ノ事ヲ充分研究スル一種ノ學科コシテ農學士ト地質學

者トハ恰モ藥劑師ト醫者ノ如ク關係密ナレハ地質學專門家トハ多少異ル所アルヘシト

雖トモ大休農事上ニ於ケル地質ノ事ハ一ト通り研究出來居ルモノナレハ何等ノ差支ナ

カルヘシ又氣象ノ事ハ之ト同様ナリ

六番(本間) 傳習生二人ヨリ多クナル事能ハサルカ

説明員(竹尾) 傳習生ハ蠶事部ノミナルカ爰ニ二人ツ、ト見込シハ第一費用ノ關係ニシ

テ則チ創業ノ年ハ椅子でーふる其他場所等ニ付多額ノ費用ヲ要スル故二人ツ、トセシ

モ何時モ二人ニ限ルト云フ譯ニアラス然シテ此二人モ甲部ニ一人ノ欠アリトスレハ乙

部ヨリ之ヲ補フ譯ニテ則チ乙部ヨリ三人出ルト云フ譯ニナルヘシ漸次擴張チ圖ルノ目

的ナリ

會頭(山田) 是ニテ第六問題ノ質問會ヲ終結トス十八番ヨリ建議書出來居レハ書記チシ

テ朗讀セム

森林蕃殖ノ義ニ付建議

一水源林設置區域ヲ定メ其蕃殖ヲ圖ランカ爲ニ縣郡市ニ委員ヲ置ク事

水源ノ樹木ヲ伐採スレハ下流ニ關係チ及スハ古今ノ定論ナリ然ルニ維新以來山林ノ制

弛ミシヨリ濫伐暴斫至ラサルナキヨリ乍チ水旱ノ災害ヲ來シ近ク明治二十四年水害

ノ如キ土地家屋ヲ流シ作物ヲ掃蕩シ一變砂礫ノ荒土トナルモノ實ニ枚擧ニ遑アラズ又

十六年ニハ田圃龜割稻モ枯死スルノ早魃ニ遭遇セシハ是皆濫伐ノ弊ヨリ釀セルハ炳然

トシテ火ヲ視ルカ如シ斯ル場合ニ際シ物産ノ改良進歩ヲ圖ラントスルモ其目的ヲ達シ

得ヘケンヤ佛國宰相云ヘル事アリ我國チ亡スモノハ敵國外患ニアラスニテ森林ノ欠乏

ニアリト當時佛國ハ森林非常ニ衰頽本縣目下ノ現況ヨリモ尙甚シク是レカ爲メ災害ヲ

受ケタルモノ實ニ巨多ナリトス玆ニ於テカ有識ノ士孜孜々々林森ニ蕃殖上ニ力ヲ盡スコト

甚々急ナリ又政府ハ森林大學校ヲ設ケ且森林法律ヲ制定シ銳意熱心挽回ノ策ヲ講スル
コト多年今殆ント其故トニ復セリト聞ケリ既ニ本會ニ於テモ森林蕃殖ノ急ナルヲ感シ
昨年大方針議決シ則チ第一着ニ水源涵養ヲ計畫シ漸次山間平野ニ蕃殖セシメントス是
レ此建議ヲ提出スル所以ナリ

明治二十六年九月三日

山形縣勸業諮問會員

加 藤 正 英

山形縣勸業諮問會頭山田幹殿

會頭(山田) 此場合十八番ヨリ詳細説明セラレテハ如何

十八番(加藤) 夫レ森林蕃殖ノ件ハ昨年勸業諮問會ニ於テ本縣勸業ノ方針ヲ議定セシト
キ出テタルコトナレハ今更本員ノ喋々ヲ待タスシテ諸君ノ既ニ熟知セラル、所ナル可
シ然ルニ縣廳ハ其方針ヲ採テ充分遣ラル、事ト思ヒシニ更ニ手ヲ出サズ只其儘打過キ
居ルヲ以テ本員ハ爰ニ進メテ建議セシ所以ナリ諸君森林蕃殖ノ事ハ實ニ目下ノ急務ニシ
テ是非勸誘シテ遣ラテハナラン事ト思フ故ニ先ツ第一着ニ森林區域ヲ定ムルヲ重要ナ
リトス次ニ水源涵養ノ事是レハ森林勸誘費ヲ復活セシメ漸次山間平野ニ實行セシメ
トス故ニ縣郡ニ擔任委員ヲ設ケ能ク實查セシメ度考ナリ然シテ該費用ハ凡六ヶ月金四
百圓トシ郡費ヨリ半額縣稅ヨリ半額ヲ支出セハ先ツ一ト通り出來得ル考ナリ右ハ重大
六ノ問題ナレハ委員ヲ設ケ充分調査セラレシコトヲ希望ス

二番(齋藤) 十八番ニ問フ本建議ハ本會規則第二條ニ據リ知事ニ具申スル見込ナル乎

十八番(加藤) 第二條ニ據テ知事ニ具申スル積リナリ

二番(齋藤) 大体賛成ナリ本縣ノ山林制度ハ實ニ不整頓ニシテ全ク實益ヲ捨テ置クハ實
ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ然シテ委員ハ何名ヲ設クル積ナル乎

十八番(加藤) 委員ハ七名トシ會頭ノ指名ニ致シ度考ナリ

二番(齋藤) 十八番ニ賛成ス

三番(長谷川) 此事ハ實ニ良キ事ナルカ手續ハ中々困難ナリ故ニ來年本會迄充分調査シ
問題トシテ提出セラレタシ本會ハ是々ノ點ニ就キ遣テ賞ヒタシト注文スル方宜シカラ
ン夫レ本會ニ於テ決シタル事ハ本會ノ輿論トシテ會頭ヨリ知事ニ復命シテ賞ヒタシ
各員ハ夫レニテ若シ弱ヒト云フ考アラハ戻リ掛ノ會員ニ縣廳ニ依テ充分知事ニ陳情シ
テ賞度考フ

十八番(加藤) 廿七年度縣會ニ出シ賞度考ナリ故ニ書面ハ書斷ニ出シ又陳情委員トシテ
三名ヲ撰ミ戻リ掛ケ充分意見ヲ述ヘラレタシト思フ

十七番(武石) 十八番ニ同意ナリ然シ水源林涵養ノ事ハ大林區ノ直轄ニナリ居ルトスレ
ハ縣稅ヲ以テ委員ヲ設ケシ所テ十八番ノ云フ如ク直ニ知事限リニテ實行スル事能ハサ
ルヘシ其邊ノ考如何

十八番(加藤) 勿論知事限リニテ出來能ハサルヘシ實查スルニモ一ト通り照會シテ相當
ノ手續ヲ經ル考ナリ

一番(林) 建議ノ調査委員ヲ設クル說前例ニナリ居ルヲ以テ敢テ討議スルノ必要ナシ會
頭ハ知事ノ代理者ナリ然ラハ特更ニ會頭ヨリ知事ニ向テ書面ヲ出スノ必要ナカルヘシ
十七番(武石) 本員ハ大体ノ賛成者ナルカ調査委員ヲ設クルヲ可トス

會頭(山田) 委員ヲ指名セン三番六番八番十七番十九番三十番三十二番トス
會頭(山田) 是ヨリ第六問題ノ討議ニ移ラン

二番(齋藤) 本員ハ大体不可ト思フ事柄ハ同感ナルモ第一案ヨリ數ヘテ見ルモ二十七年
度ニ於テ實行スヘキ事實ニ少々ナラス勿論縣會ニテ六ヶ敷事ト考フルヲ以テ二十七年
度ノ勸業會迄當業者ニ於テモ篤ト取調ル事トシ本年ハ先以テ欠クヘカラサルモノニ對
シ充分力ヲ込メテ考ナリ

三十五番(酒井) 大体可トス二番ハ事柄ハ可トスルモ縣會ニ於テ六ヶ敷カラント云ヨリ
不可トセテレシカ本員ハ本案ノ如キ事業ハナクテナラヌ事ト思フ即チ第四案ヨモ一方
ハ關係シ居レリ第四案ノ精神ハ全ク本案ニアリ縣下蠶業ノ發達ニ就テハ非常ナル關係
ニ付先大体ヲ賛成セン夫レ蠶糸業組合モ自治トスレハ獎勵ト云フ事ハ敢テ絶ルモノナ
レハ換ルニ矢張斯様ノ事業ヲ起サレハ到底發達スル事思ヒモ寄ラヌ事ナリ夫レテ本
員ハ縣廳ニ望ム所ハ米作ノ改良蠶業發達ノ二ツニ向テ專ラ大方針トシ大小共ニ兼ルハ
六ヶ敷モノナレハ小ナルモノハ捨テ大ヲ取ルト云ク見込ニテ若シ本年否決スレハ明年
明年否決スレハ明後年ト云フ工合ニ熱心徹底セラレノコト望ム是即チ本員ノ持論ニシ
テ縣下蠶業改良上後進者養成ニ急務ナルヲ認メ居レハナリ

二番(香藤) 三十五番ト大体異ル所ナシ實ハ是迄モ縣稅ニテ農事講習所等ヲ設ケシ事ア
リシカ充分ナラスシテ廢止セリ所テ今會頭ニ我儘ヲ云ク様ナレトモ斯様ナル重大問題
ニアラハ始メヨリ其旨趣ヲ話シ置カレ、様ナレハ兎モ角今日トナリテハ會員モ己ニ倦
ミタル心地ニテ何様調査モ不充分ナリ故ニ明年迄互ニ能ク調査シテ實行スル事トシ本
年度ハ先ツ見合度考ナリ

十二番(八島) 大体ヲ可トス併シ一試驗所ヲ設ケシトテ縣下一般ノ利害ヲ見ル事ハ到底
難キ事ト信ス本員ハ之ヲ繼續事業トシテ數多ノ試驗場ヲ各郡村ニ設ケ度考ナリ何トナ
レハ素ヨリ農作物ハ專ラ土壤氣候ニ依テ非常ノ差違アルモノナレハ少クモ一郡ニ七ヶ
所位ノ試驗所ヲ設ケサレハ無用ナリト思フ夫ニテ隨分學者ノ說杯モ出來居ルカ實地ノ
試驗ノ出來サルモノヲ普及セントスルヨリ往々間違テ來シ失敗ヲ招クモノ少ナカラス
隨分是迄モ農學士ノ講話杯ト云フヲ信シ稻株ハ五十株ハ適當テアル否六十株ハ尤宜シ
杯ト夫々實行セシモ全ク土質ノ如何ニアル譯ニテ決シテ一株ニ幾株ハ適當ナリトハ決
定シ能ハサルモノナリ本郡ハ黑粘土ナルカ西ケ原ハ赤粘土ナリ又東京ハ氣候ニハ格別
差違ナキモ山形縣ノ如キハ一郡ヲ隔テ其差違アルコト實ニ夥多シ是則チ各郡ニ六七ヶ
所ツ、モ設ケサルヲ得サル所以ナリ然シテ蠶事部ノ試驗ハ三十五番ヲ賛成ス

一番(林) 本日ハ上杉製糸所一同縦覽致度ニ付是ニテ休會セラレシコトヲ建議ス
會頭(山田) 本日ハ是ニテ散會セン
干時午後一時

○九月四日午前九時開會

出席員二十九名

會頭(山田) 是ヨリ昨日ニ引續キ第六問題ニ取掛ラン

十九番(大泉) 本縣ノ重々物産ハ實ニ米穀蠶糸ニ次クモノナカルヘシ故ニ是迄蠶蠶ニ製糸ニ大ニ獎勵セシカ米穀ノ獎勵ハ實ニ緩漫ナリ然ルニ年々歳々人口ヲ増スニ就テモ縣下ノ米作ノ改良ハ急務トナレリ併シ中々一時ニ實行スルトシテモ容易ニ其効ヲ奏シ難シ故ニ二十七年年度ハ縣稅ノ支出モ隨分重リ居ルコトナレハ二番ノ述ル如ク翌年迄延期スルモ可ナリ然シ二十七年年度豫算大体ニ超過セサレハ設置スルモ差支ナカルヘシ故ニ本員ハ大体ヲ可トスルト云フ意見ナリ

說明員(竹尾) 本案ヲ實施セント欲スル調査ノ要領及ヒ本員ノ見込チ此場合ニ一言セン

先ニ二番ヨリ問題配布後數口ヲ纏テ今ヤ終會ニ際シ本案ヲ廻サレ到底充分ノ調査ヲナス能ハス又當局者ニ於テモ粗漏ノ調査タル免レサル云々述ヘラレシカ本案ノ後レシ理由ハ調査ノ爲意外ノ時マテ要セシニ由ルナリ併シ重大ノ事件ナルカ故ニ念ニ念チ加ヘテ充分調査ヲナセシモノニテ決シテ一夜作りノモノニアラス夫レテ管下ノ狀況ヲ熟察シ又老練家ニ意見ヲ叩キ見ルニ各郡ニ試作人アリ又種苗交換會アリ又農事改良談會等アルモ其方針未定テスシテ改良ノ急務ナルヲ覺リシニ止マルノミト云フヘシ彼本省ヨリ技手ヲ招聘シ各郡ヲ巡回シテ講話セシメサルハ本縣農事改良上ノ命脈ニシテ當業者ニ大ニ信チ置キ本年迄既ニ四ヶ年四度ニ及ヘリ其結果如何ト云ヘハ各員モ大体認メラル、通り各郡馬耕ノ有益ヲ認メ傳播實施スル有様トナリ福岡縣ヨリ實業教師ヲ雇入

レ實地試驗チナス等又種チ撰ムニモ鹽水法ハ宜シキトカ初メ一片ノ巡回講話カ本トナリ各郡ニ於テ實地ニ當テ試驗スヘキ場合トハナレリ此場合ニ當テ如何ナル方法ニ據レハ全体ノ目的ヲ達シ得ラル、カ常ニ本員ノ考フル所ナリ昨年モ本會ニ於テ農學士招聘說現レシカ素ヨリ本員ニ於テ思慮セサル義ニアラサレトモ只時機ヲ見計ヒ居リシナリ然ルニ今ハ農商務省ニ於テモ試作場ヲ設置シ其管轄區域ヲ定メラレ本縣ハ農事試驗場宮城支場ノ管轄トナリタレハ是迄ノ通り主務省ヨリ技手ノ派遣ヲ許サレヌ事故此場合ニ際シ一步ヲ進メ縣稅ヲ以テ農學士ヲ雇入レ氣候ノ關係土質ノ異同等チ實地ニ就キ調査シ試驗チ行フチ適當ナラント思フナリ明年迄延サントノ說アレトモ二十七年年度ヨリ着手シ漸次各郡各村内ノ實況ヲ調査シ學士ノ說チ實地ニ試驗セシムルニ至ラハ其効實ニ少ナカラサル可シ又蠶事モ改良ノ順序立タヌ良否混淆ト云フ有様ナリ暫ク製糸ニ就テ言ハシカ本縣程種類ノ錯雜セシ所ナカル可シ偶々上等ノ器械系アリト雖トモ又到底人ノ前ニ出シ能ハサル程ノ器械モアリ坐繰ト云ヘハ本縣ノ産ニシテ福島系ノ埋草トナリ棒系ニ至レハ種類雜駁加フルニ二口三口ト云フモノ多クシテ織屋ノ繰返シニ困難ナル苦情絶ルコトナシ蠶蠶亦然リ二十年來ノ西ヶ原入學生モ年々アリテ改良法チ實行スルモノアレトモ亦然ラサルモノモアリ西置賜長井町ノミニテモ三十五日ヲ適當トシテ上簇セシムルモノアリ四十六日ヲ以テ上簇セシムルモノアリ實ニ其養蠶法ノ區々タルヤ言語ニ堪ヘタル始末ナリ是レ全ク學理チ實地ニ應用スルモノナリ思ヒノニ仕來ノ流儀チ守ルニ因ルナルヘシ故ニ縣下著名ノ人物ヲ撰ミテ評議員トナシ實地ノ試驗チ

ナシテ好成跡ヲ全般ニ及サハ其方針一定シテ改良ニ趣カシムルコトヲ得ヘシト云フ考ナリ

三十五番(酒井) 審カナル説明ニテ承知セリ本員モ蠶糸業ニ就テハ頗ル苦心セシカ抑モ蠶糸業組合ノ必要則チ組合ノナクテナラヌハ蠶種製造取締及ヒ蠶種検査是ナリ然ルニ組合モ己ニ自治トナス時機到來時來テ自治トナル表面上ヨリ見ルトキハ實ニ適當ナルモ容易ニ之カ實効ヲ見ル能ハサルヘシ故ニ本員ハ飽ク迄モ本案ヲ維持シ實効ヲ奏セン考ナリ

十二番(八島) 昨夜各員ニ意見ヲ問フニ一郡ニ試験場六七ヶ所坏ハ到底設ケ能ハサルヘシト講話ヲ聞イタ斗リニテ實地ニ遣レハ仕損シノミ多シ仕損シスレハ忽チ信用ヲ失ハ故ニ試験場一ヶ所二十圓位ニ見積リテ成ルヘク多ク設ケ農學士ニ巡回スルモノトシテ日俸及旅費ヲ見積リ置キ今後四五ヶ年間ノ繼續事業トシテ充分氣候土質等ノ關係ヲ調査セシメ度考ナリ

十六番(大場) 本案ノ重要ノ問題ニ付實行シタキモ己ニ第四案モ成リ立チシ上ナルヲ以テ結局ニ番ト同感ナリ

卅二番(小川) 本員ハ大休農學士ヲ聘スル事ヲ賛成ス然シテ農學士ハ各郡ニ組合試験地己ニ出來居レハ學理ナリ實地ナリ現ニ試験シ居ル所ヲ巡回セシメテ夫々指揮セシメ又本年度ヨリ種苗交換會等ニ出品シ實跡ヲ取調ルトセシナラハ敢テ特更ニ試験所ヲ設ケルノ必要ナカルヘシト信スルナリ

二十番(加藤) 蠶事部長一層ニ擴張シ併セテ原種ヲ製造シ配付スル様致シ度考ナリ
三番(長谷川) 二番ト同感ナリ山形一ヶ所ニ試験所ヲ設ケシトテ一般ニ蠶ノ効モ現レ難シ故ニ充分ノ考付カサレハ先ツ延期說ヲ取ラレンコトヲ希望ス
五番(廣居) 蠶糸業組合モ自治トナリ本案又延期トナレハ實ニ蠶業ノ改良杯ト云フ事ハ覺東ナキ次第ナレハ是非二十七年ヨリ實行セラレンコトヲ原旨ニ賛成ス
會頭(山田) 爰ニ延期スルヤ否ヤノ數ヲ試ミン延期ヲ可トスル方起立
起立者十三名 少數

十八番(加藤) 農事試験場設置方法山形米澤鶴岡ノ三方面ニ於テ輪番ニ設置スル様致シタシ然シテ試験地ハ凡六反歩トシ蠶事部長評議員ハ七名以内名譽職トシ又評議員會ハ毎年一回之ヲ開キ會期七日以内トシ諸般ノ事ヲ協議シテ實施シタキ考ナリ
十九番(大泉) 本案ニ付七名ノ調査委員ヲ指定シ附托セラレン事ヲ建議ス
二十七番(荒木) 建議說ニ賛成ス
二番(齋藤) 建議說ニ賛成ス
會頭(山田) 十九番ノ建議ヲ採用シ委員ヲ指名スニ番十二番十六番二十一番十九番三十番五番トス指名ノ方ハ明朝迄取調ル事トセラレタシ十八番ノ建議調査委員ヨリ報告セラレタシ
十九番(大泉) 本員ヨリ報告セン水源林調査トシテ各郡ニ委員ヲ置キ山林制度ノ定ラサ以前ニ水源林ヲ設置シタキ見込ナリ今其調査センモノアレハ之ヲ回覽セン

取調書

- 一 取調委員ハ左ノ方法ニヨリ適宜ノ場所ヲ撰ミ字ノ反別四隣境界ヲ定メ位圖面ヲ別段縣廳ニ上申スヘシ
- 一 縣廳ハ其當否ヲ檢査シ關係者ニ情願ノ手續ヲ示スヘシ
- 一 水源林伐採ハ左ノ場所ニ限ル
 - 一 用材木ハ植立テタル年ヨリ三十ヶ年ヲ過キ總反別ノ三十分ノ一ヲ輪伐スル事ヲ得
 - 二 在來ノ雜木ハ五十年過キ五十分ノ一ヲ輪伐スル事

水源林設置意見

- 一 用水ニ關係アル河川毎ニ之ヲ設ク
- 一 水源林總テ薪炭用ニ障リナキ深山深谷ヲ以テ之ニ充ツ
- 一 數川ヲ合シテ其末流ニシテ關係アルモノハ其上流殊ニ之ヲ置ク
- 一 水源林反別ハ大畧左ノ目的トス
 - 一 町歩以內 一町歩ニ付 二町歩
 - 五町歩以內 一町歩ニ付 一町歩
 - 二十五町歩以內 一町歩ニ付 五反歩
 - 百二十五町歩以內 一町歩ニ付 三反歩
 - 六百町歩以上 一町歩ニ付 一反歩
- 二十一番(佐藤) 水源涵養森ヲ設クル爲官地ヲ民地ニスル事出來得ルヤ

十九番(大泉) 是レハ山林制度未ダ定マラサレハ官地ヲ民地ニ移ス事出來ル見込ナリ

二番(齋藤) 陳情委員ヲ撰ミ知事ニ具申セントス

十九番(大泉) 二番ニ賛成ス

會頭(山田) 各員異議ナシ陳情委員ハ明日トセシ續テ第二問題ニ取掛ラン

十九番(大泉) 大体ヲ可トス未條ノ罰則ヲ削除シタマシ何トナレハ是等ハ素ヨリ己ノ不利

益ナル事ニシテ遺ラテハナラヌ事ニテ夫レヲ役場等ヨリ告發シテ罰スルト云フハ忍ビ

サル事ニテ又實際ニ其効モアラサルヘシト思フ

二番(齋藤) 大体ヲ可トス能ク各府縣ニ打合セテ實施セラレタマシ小野技手ノ講話中ニモ

アリシカ實ニ必要ノ事ト思フ

三十五番(酒井) 十九番ヲ可トス科料ノ項ヲ削除セラレタマシ

三番(長谷川) 十九番ヲ可トス

二十番(加藤) 十九番ヲ賛成ス

會頭(山田) 本案七條ヲ削リ他異議ナキ方ハ起立

起立總員

四名ヲ除ク

是ヨリ第三問題ノ審議ニ移ラン

十九番(大泉) 本案大体ヲ可トス只十日望ムモノニハ十日又二十日望ムモノニハ二十日

トセラル、様致シタマシ

三十五番(酒井) 十九番ヲ賛成ス

會頭(山田) 本案ニ對シ別ニ異議ナクハ第五問題ニ移ラン
 十九番(大泉) 本案ハ素ヨリ繼續事業ナレハ勿論兩三年實行スル考ナリ原案ノ儘チ可トス
 三十五番(酒井) 同感ナリ半途ニシテ止ムル能ハス
 十八番(加藤) 十九番ト同感ナリ
 會頭(山田) 本案異議者ナシ本日ハ時刻モ移リタレハ是レニテ散會セン
 午時十二時散會

○九月五日午前九時五分開會

出席會員二十九名

會頭(山田) 是ヨリ開會ス委員ノ方ヨリ調査ノ要領ヲ報告セラレタシ
 十九番(大泉) 本員ヨリ報告セン大体米穀蠶蠶ノ改良ヲ圖ランカ爲メ農學士ヲ聘スル事
 ハ原旨ト異ルコトナシ併シ農事部蠶事部ノ二ニ分ツテ試驗所ヲ設クルコトハ委員會ニ
 於テ否決セリ其理由ハ一ヶ所ニ試驗所ヲ設クルモ充分ナル適當ノ試驗チナス能ハス故
 ニ試驗チナスコトハ其郡市ニ誘導シテ人民ノ希望ニ任セテ設置セシメ以テ學士ヲ聘シ
 テ絶ヘス各試驗所及各郡蠶蠶ヲ巡回セシメントスル所以ナリ
 二番(齊藤) 十九番ヨリ述シ通りニテ若シ設置スルトスレハ少クモ四五ヶ年ハ繼續事業
 トセサルチ得ス左レハトテ庄内村山置賜ノ三方面ニ設置スルトスレハ其經費モ容易ニ
 アラス然ラハ一ヶ所トスルガ範圍廣キニ失シ實際効ナシ故ニ先ツ試驗ハ見合セ學士ヲ
 聘スル迄ニ致シ度考ナリ

二十二番(工藤) 委員說ニ賛成ス

六番(本間) 試驗所ハ各郡ノ最寄りニ設クルノ積リナルカ

十九番(大泉) 希望スル所ニ設置スル考ナリ

六番(本間) 委員說ニ賛成ス

説明員(竹尾) 委員ノ報導ハ方法チ異ニスルモ恰モ長崎縣ノ現ニ實施セル仕組ニシテ同
 縣ニテハ既ニ本年迄六ヶ年モ繼續シ大ニ改良進歩ヲ現ハセリト小野技手等ヨリ承知セ
 リ

二番(齊藤) 委員說ニ賛成ス

二十番(加藤) 蠶蠶ニ付巡回スルトスレハ常ニ置ク積ナルヤ

三十五番(酒井) 勿論専務トシテ常ニ抱ヘ置ク積リ

二十番(加藤) 一人ニテハ不足ナレハ三人モ雇ヒ置様致度考ナリ

三番(長谷川) 三人モ置ケハ尤モ宜シキ事ナレトモ素ヨリ充分ナル事チセンニハ十人ア
 ッテモ二十人アツテモ満足セサルヘシ大体本縣ノ程度チ見ルニ夫レ程進ミシモノニア
 ラス夫レニ學士杯斗リ集メシトテ丁度小學ノ生徒ニ大學ノ科程チ俄ニ學ハセルカ如キ
 始末ニテ實際左様ニ著ルシキ効アルモノニアラス

二十番(加藤) 三名トシ若シ經費ノ關係アレハ四ヶ月ツ、置クモ可ナリ

十九番(大泉) 日本中ノ學士千人モ十日ツ、備入ル、様ナレハ此上モナキ便宜ナルモ實
 ニ其人チ得難キニハ困難ナリ假令ハ立派ナ片書ノアルモノチ雇入レ業仕舞ニナレハ歸

レト云フ様ナ手易キ事ニハ參テサカヘシ
五番(廣居) 委員說ニ大反對ナリ一年モ早ク完全ナル試験所設置ヲ希望ス故ニ原旨ヲ贊
成ス

十八番(加藤) 蠶事部巡回ノ日數ハ短シ各郡三四日シカ廻ル能ハサルヘシ實ニ名ノミニ
シテ益ナシ然シ養蠶季節ノ外ハ如何ニ暮シ居ル見込ナルヤ

二番(齋藤) 本縣ハ庄内村山置賜ノ三方面ヨリ成リ立チ居レハ先ツ一ト通りハ巡回スル
モノトシ勿論五年位繼續事業トナレハ一方ニ變セス本年ハ何處ヨリ明年ハ何處ト云フ
如ク力ヲ入レサセ度考ナリ

會頭(山田) 論旨盡キタレハ試ミニ數ヲ採ラン委員說ヲ可トスル方ハ起立

起立總員

四名ヲ除ク

會頭(山田) 是ニテ問題ハ悉皆結了セリ數日間各員ノ精勤ヲ謝ス本會ノ頓末ハ具サニ知
事ニ開陳スヘシ閉會ニ際シ一言セン
于時午前十一時十五分閉會一同退散

明治二十七年四月二日印刷
明治二十七年四月四日發行

山形縣廳

山形縣山形市旅籠町四百四十六番地

印刷者 永昌堂 鳥居善治

